

2024 Sustainability Report

サステナビリティ報告書

澤藤電機株式会社

〒370-0344

群馬県太田市新田早川町3番地

お問い合わせ先

経営企画部 サステナブル戦略室 TEL. 0276-56-7130

澤藤電機株式会社
SAWAFUJI ELECTRIC., CO., LTD

発行にあたって

目 次

発行にあたって・目次

■ 澤藤電機について

基本理念	2
事業概要	3
澤藤電機と関係会社の概要	3
主要製品	4
トップメッセージ	5
中長期経営計画～長期構想「チャレンジ 2030」	9
サステナビリティ経営	9
安心してチャレンジできる企業基盤	10
環境戦略と財務戦略	10
優先取り組み課題と目標	11
2030 年に目指す姿	11
CSR への取り組み	12
SDGs への取り組み	13
誰もが作業しやすい工程への改善	14

■ 経済性報告

業績報告	15
営業品目および主な取引先	15
IT、IoT、AI の活用による経済性改善	16

■ 環境報告

環境方針	17
環境マネジメント	17
環境マネジメントシステム運用	18
事業活動における投入資源と排出環境負荷	19
環境への取り組み内容	21
カーボンニュートラルの取り組み	23
製品開発における環境取り組み	27
事業活動における環境取り組み	30
生産活動における環境取り組み	31
物流活動における環境取り組み	34
環境活動における環境取り組み	35
環境コミュニケーション活動	36
生物多様性	37
環境パフォーマンスデータ	38

■ 社会性報告

お客様とともに	41
地域社会とともに	44
株主・投資家様とともに	46
代理店・特約店様とともに	46
仕入先様とともに	47
社員とともに	50
ステークホルダーとの対話	56
企業価値向上、業務効率化工場へのロードマップ	57
食堂・駐車場リニューアル	58
社会パフォーマンスデータ	59

■ ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	61
コンプライアンス	62
情報セキュリティ	63
リスク管理	64
事業継続計画 (BCP) に向けた取り組み	66

■ トピックス

GO OUT JAMBOREE2023 ENGEL ブース出展	67
GO OUT CAMP2023 ENGEL ブース出展	67
ジャパントラックショー in Fujispeedway 2023	
ENGEL ブース出展	68
ジャパンキャンピングカーショー 2024	
ENGEL ブース出展	68

澤藤電機について

基本理念

澤藤電機グループは、

企業姿勢を示した「社は」と企業の使命を表明した「経営理念」を企業活動の基本と考えています。

この「経営理念」の遂行に向け、全社一体となった取り組みをしています。

社 是

制 定 1960年 7月

1. 研究を進め技術を練磨し輝かしく躍進しよう
2. 顧客に対する責務と信義を守り社会に貢献しよう
3. 労使協調相互信頼により明るい職場を樹立しよう

経営理念

制 定 1990年10月 改 定 2001年 4月

澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄を与える。

- * 顧客に感動を
- * 自然に清らかさを
- * 社業に携わる人に栄を



目 指 す 方 向 性

培ってきたコア技術を生かし、
「『電気』に関すること」の
ソリューション企業を目指します

電
気
を

つくる

あらゆるエネルギーを
『電気』に変換する技術

ためる

つくった『電気』を蓄える技術

つかう

『電気』を使ったより快適な
生活環境を作り出す技術

澤藤電機と関係会社の概要

【社 名】 澤藤電機株式会社	【発行済株式総数】 4,322,000 株 (自己株式 7,162 株を含む) *
【創 業】 1908 年 (明治 41 年) 6 月 10 日	
【創 立】 1934 年 (昭和 9 年) 6 月 10 日	【株主数】 4,937 名*
【代表者】 代表取締役社長 兼 執行役員社長 井上 雅央	【社員数】 連結:881 名* 個別:724 名* (※印は 2024 年 3 月 31 日現在)
【資本金】 1,080,500 千円*	
【主要な事業内容】	

澤藤電機は、電装品・発電機・冷蔵庫の製造、販売を主な事業としており、その内容は以下の通りです。

電装品:ディーゼルトラック・バス用電装品 (スタータ、オルタネータ、HV・EV モータ、ECU)、汎用・船用電装品、油圧機器用小型 DC モータ、その他各種電子製品

発電機:可搬式発電発電機および同製品用発電体

冷蔵庫:各種車両用・船舶用電気冷蔵庫

その他:運送事業

【関係会社】

名 称	所在地	主要な事業内容
株式会社エス・ター・エス	群馬県太田市	運送事業
エンゲル・ディストリビューション Pty. Ltd.	オーストラリア プリスベン市	冷蔵庫販売事業、発電機販売事業
サワフジ エレクトリック タイランド CO., LTD.	タイ パトゥムタニー県	電装品、発電機用発電体製造・販売事業

製造拠点および販売拠点



主要製品

電装品

■ 従来電装品

トラック・バスおよび建設機械用に合わせた信頼性の高い電装品を提供しております。



スタータ



オルタネータ



車載用コンピュータ



DCモータ

■ 電動パワートレイン用ユニット

トラック・バスの CO₂ 削減に貢献する信頼性の高い電動ユニットを提供しております。



ハイブリッド車用モータ



電気自動車用モータ



バッテリーパック

発電機

世界各国の電圧・周波数の仕様に合わせ、ガソリン・ディーゼルおよびガス発電機を 2.2 kVA から 25 kVA までの出力範囲で提供しております。



SH3200EX



SH7600EX

ELEMEX



SH13000 / SHT15000



SHT25D

冷蔵庫

レジャーや業務・家庭用として、乗用車、トラック、バス、キャンピングカー、クルーザーなど、幅広い用途でご利用いただき、バッテリーでも使える本格派 AC/DC 冷凍・冷蔵庫などを提供しております。

冷凍・冷蔵庫
MT45F医薬品、ワクチン用
定温輸送保冷库ENGEL
A LEGEND IN RELIABILITY冷凍・冷蔵庫
サンドページュ

Pacificool



澤藤電機株式会社

代表取締役社長 兼 執行役員社長

井上 雅央

澤藤電機は、「働くモビリティ社会の中で課題解決の一翼を担い続ける」を パーパス（存在意義）とし、社会に貢献し続ける会社を目指してまいります。

日頃より澤藤電機の企業活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。このたび当社グループは、幅広いステークホルダーの皆様へ、サステナビリティ経営を軸とした将来の目指す姿をお示しするとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてご理解いただくために、サステナビリティ報告書を発行することといたしました。

当社グループは 1934 年の創立時から、経営理念である「澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係するすべての人に栄を与える」のもと、2024 年、お陰様で「創立 90 周年」の節目の年を迎えました。

これは、モノづくりに対する従業員のたゆまぬ努力・過去から現在まで築き上げた技術と信頼だけでなく、仕入先様の「誠実なモノづくり」の精神と品質向上・生産性改善などへの絶え間のない追求、さらにはお取引先様のご協力、近隣住民の方のご理解ご協力など、多くのステークホルダーの皆様を支え

られて成し得た結果と深く感謝しております。

今後は、製品群におきましては電装品や冷蔵庫、発電機などの既存製品・技術に加え、様々な業界のお客様に貢献する可能性を持つ「電動システム製品」につきましても、グローバルに展開してまいります。

個々の製品におきましては、これまでもお取引先様にご満足いただける性能や信頼性・耐久性などの品質の確保とコスト低減に努めてまいりました。今後は「お客様視点での使いやすさや補修のしやすさ」などに加え、「仕入先様が抱える製造条件や納入形態などの困りごと解決」、「社内工程での作りやすさや保管のしやすさ」なども含め、全てのステークホルダーの皆様にご満足いただける要素を広い意味での「商品力」と捉え、それらを備えた「新時代の商品」を追求することにより、社会に貢献し続けるサステナブルな企業を目指してまいります。

社会に貢献し続ける企業であるために

現在、当社グループを取り巻く環境は、カーボンニュートラルや環境負荷低減を含む ESG 課題の解決など、企業の社会的責任がさらに高まりつつあり、各業界への電動化の加速的な波及、自動車業界におけるグローバルな構造変化やそれに伴う各事業の取捨選択・再編など、大きな変革期にあります。当社のみならず、多くの企業が未曾有の課題に直面しています。

このような状況下で、澤藤電機がさらに 50 年、100 年と存続するためには、当社のみならず、全てのステークホルダーの皆様とともにこれまで以上の強いパートナーシップを築き、その時々の変化に対応し、サステナブルな社会へ貢献し続けることが必要です。そこで澤藤電機は、将来の「あるべき姿」を皆様にイメージ・共感していただけるよう、昨年 5 月に「中長期経営計画～長期構想『チャレンジ 2030』」を策定、公表いたしました。

澤藤電機のパーパス（存在意義）である「働くモビリティ社会の中で課題解決の一翼を担い続ける」のもと、自らの企業体質を受託型から、商用車や農建機などのプロフェッショナルユーザーのニーズに対応可能な商品をお示しする能動型へと事業ポートフォリオを変革し、将来のカーボンニュートラル社会に欠かせない、“世界の澤藤電機”として社会に貢献し続ける企業を目指すという計画です。この推進には、企業基盤を整備した上で、環境戦略と財務戦略の二つの柱による変革が必要です。

環境戦略

環境戦略の一つ目は、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた対応です。

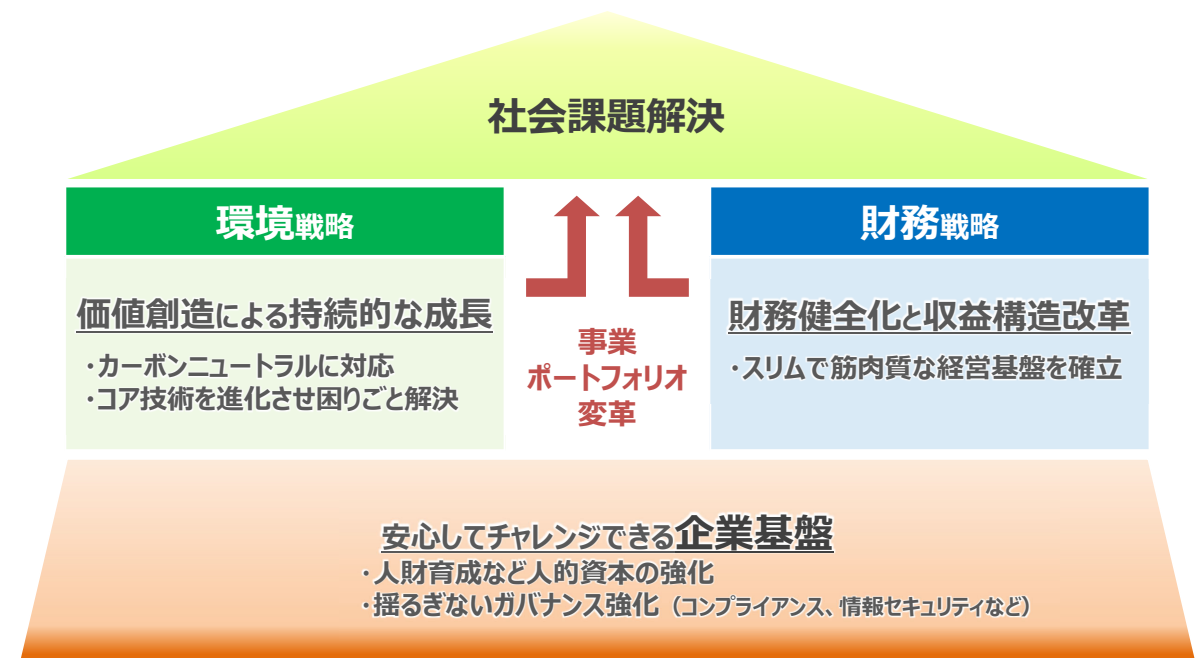
省エネ、自社製品のライフサイクル CO₂ 排出量削減はもちろんのこと、サプライチェーン全体における CO₂ 排出量低減についても、2022 年より取り組みを開始し、仕入先様にもご協力いただきながら活動を拡大しております。

また、多くの業界における「電動化の大波」に確実に乗れるよう、エネルギー変換における澤藤独自のコア技術をさらに進化させるべく、「環境技術」を磨くことにも注力します。

そのための開発体制構築や人材育成の取り組みも開始しました。これらの活動により、お客様の困りごと解決や、他社との差別化による競争力の確保、さらに、グローバルな展開へと結びつけ、企業としての価値を自ら創造してまいります。

財務戦略

財務戦略としては、財務の健全化と収益構造改革の推進に取り組めます。まずは在庫などの現状把握から始め、あるべき姿やその管理方法、在庫になりにくい発注方法の検討など、関係部署が一体となって改善に向けた取り組みを開始しており、スリムで筋肉質な経営基盤の確立を目指してまいります。





企業基盤の整備

上述の二戦略をスピーディーに推進するには、従来の「上意下達的な業務指示」だけでは実現できないと考え、澤藤電機の従業員一人ひとりが自ら課題を見つけ、対策を考え、そして安心して新しいチャレンジができる環境、すなわち企業基盤の整備に取り組み、ガバナンスの強化や人的資本の強化を推進してまいります。

1. 風土改革ワーキングチーム

社員一人ひとりが同じ目標に向かって自らの考えで発言でき、互いにその言葉に耳を傾けることができる風土づくり、従業員が「明るく楽しく元氣よく働ける職場づくり」を目指しております。これは個人の意識改革のみならず、そこから企業風土としての改革へも発展させる必要があり、2023年1月に風土改革ワーキングチームを立ち上げ、幅広い職種メンバーを募り、手探りながらも様々な対策に取り組みを始めております。

またこの風土は、仕入先様、お取引先様との関係においても必要不可欠です。澤藤電機が信頼いただけるパートナーであり続けるためにも、社外のお客様とのコミュニケーション

の場を定期的に設け、ご意見をいただき、真摯にお応えしてまいります。

2. 人財開発部

風土改革と同時に、自らを変え、組織や仕事の進め方を変えることができる「人財」の育成も必要です。2023年6月には、総務人事部から「人財開発部」を独立させ、新たな教育や育成制度の改革に着手しました。

3. BR 業務改革推進室

企業基盤を整備するには、組織全体の活性化・効率化、生産性向上、個人のモチベーションアップが重要です。社内のあらゆる業務についての「仕事のやり方」を見直し、ムリ・ムラ・ムダを排除し業務効率化を図ることを目的として、2024年1月にはBR業務改革推進室を新設しました。

これら三位一体での取り組みを推進し、従業員が安心してチャレンジできる企業基盤を整備してまいります。

あるべき姿を目指して

従業員一人ひとりが澤藤電機のあるべき姿に向け、意識・行動を変え総力を結集することで、将来の社会課題解決に貢献し続けるサステナブルな企業を目指してまいります。

より多くのステークホルダーの皆様方からご意見をいた

き、澤藤電機が成長し続けるための新たな課題としていきたいと考えておりますので、どうか忌憚のないご意見をお寄せいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



中長期経営計画 ～ 長期構想「チャレンジ2030」

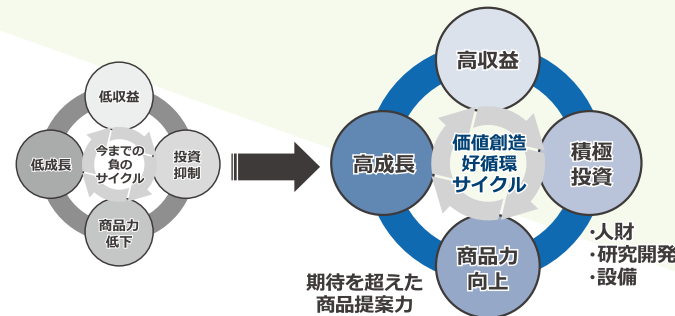
当社が目指す将来の姿を、全てのステークホルダーと共有し共感いただくため、新たに策定しました。
2050年のカーボンニュートラルに向け、働くモビリティである商用車・農建機などのメーカーや
プロフェッショナルユーザーが抱える課題解決の一翼を担い続けることを存在意義とし、
社員一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集し、魅力ある澤藤に進化します。

＜澤藤電機の存在意義＞
働くモビリティ社会の中で
課題解決の一翼を担い続ける



＜スローガン＞
エネルギー変換技術を進化させ、
世界で働くモビリティ/
プロフェッショナルユーザーの
困りごとを解決

意識・行動変革



一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集
自ら光り輝き、魅力ある澤藤に

安心してチャレンジできる企業基盤

風土改革の積極的な推進により、人的資本とガバナンスを強化します。
多様な社員が、健康で自己実現できる環境を整え、
コンプライアンスを徹底し、安心して誇りに思える会社づくりを進めます。

人的資本の強化

『一人ひとりが自己実現』
・学びと挑戦
・人権尊重
・健康

ガバナンスの強化

『安心して誇りに思える会社』
・コンプライアンスファースト
・情報セキュリティ強化
・社会貢献



サステナビリティ経営

社員が安心してチャレンジできる企業基盤を整え、
環境戦略と財務戦略の二つの柱で、事業ポートフォリオを変革します。
働くモビリティ／プロフェッショナルユーザーの困りごと解決を通じて、
将来のカーボンニュートラル実現に貢献し、末永く存続する企業を目指します。

社会課題解決

環境戦略

価値創造による持続的な成長

- ・カーボンニュートラルに対応
- ・コア技術を進化させ困りごと解決

財務戦略

財務健全化と収益構造改革

- ・スリムで筋肉質な経営基盤を確立



安心してチャレンジできる企業基盤

- ・人財育成など人的資本の強化
- ・揺るぎないガバナンス強化 (コンプライアンス、情報セキュリティなど)

環境戦略と財務戦略

澤藤電機のコアであるエネルギー変換技術を更に進化させ、
環境改善に貢献する電動システムのグローバル展開を目指します。
同時に、積極的な成長投資や在庫見直しなど、財務健全化も推進し、
将来の社会課題解決に向け、事業ポートフォリオを変革します。

環境戦略

『電動化普及の大波に乗る』

- ・コア技術の進化
- ・差別化による競争力の確保
- ・グローバル展開

財務戦略

『財務の健康経営を実行』

- ・積極投資 (人財・研究開発・設備)
- ・営業利益率の向上
- ・在庫適正化
- ・売掛金／買掛金バランス改善

優先取り組み課題と目標

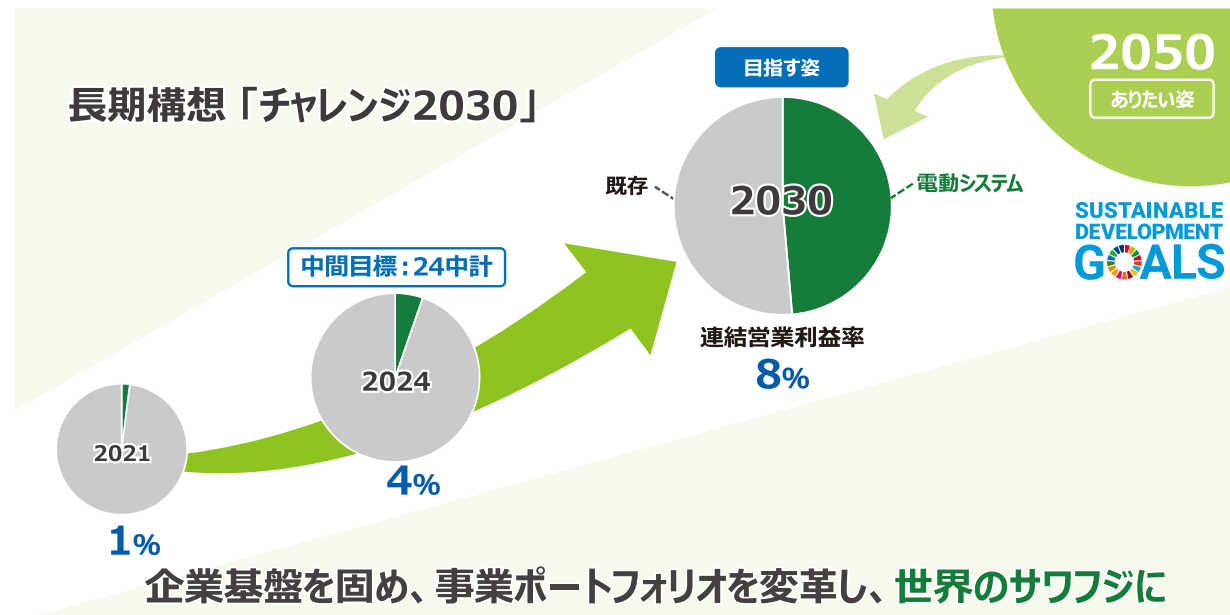
中長期経営計画の実現に向け、サステナビリティ経営を加速するため、必要な優先取り組み課題と目指す姿、目標を設定しました。これらは、ESG及びSDGsの推進にも繋がります。全社員の総力を結集し、社会課題の解決に取り組みます。

	取り組み課題 ^{*1}	目指す姿 ^{*1}	2030年度目標 ^{*2}	SDGs	
環境・財務	地球温暖化防止	・働くモビリティの電動化に貢献しCO ₂ を可能な限り削減 ・性能向上と環境負荷低減の両立する開発・設計を推進 ・生産活動や製品・サービスにおいて、地球環境の保護に努める継続的な改善を約束 ・お客様に喜んでいただける高品質な製品を提供	2050年カーボンニュートラルに向け ・企業活動におけるCO ₂ 排出量の削減 ^{*3} 2013年度比 ▲50% (▲48%) ・電動システム製品普及 売上高 220億円 (18億円)	3 	4 
	環境負荷物質低減			5 	7 
	大気汚染防止			8 	9 
	資源有効利用			10 	11 
	水資源の節約			12 	13 
安心してチャレンジしつづける企業基盤	人財育成／ 人財活躍推進	・社員一人ひとりが安心して、健康で能力を最大限発揮できる職場環境づくりを推進 ・社員をはじめバリューチェーンなどを含むすべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を行う	・ワークエンゲージメント 肯定回答率 ^{*4} 70% (65%) ・女性管理職比率 20% (3%) ・従業員定着率 90%以上 (90%)	10 	11 
	働き方改革／ 働きがい向上			12 	13 
	人権尊重			14 	15 
	持続可能な調達	・仕入先様と共に相互の発展・成長を目指し、環境問題、人権問題、コンプライアンス等に配慮した事業活動を行う	・人権研修参加率 100% (100%)	16 	17 
	健康／安全衛生			・重大災害 0件 (0件)	
	コンプライアンス	・各国の法令を順守、安全保障を意識し、一人ひとりが高い倫理観をもって社会的責任を果たす ・情報資産の保護に最善を尽くす	・重大法令違反 0件 (0件) ・重大セキュリティインシデント 0件 (0件)		
	情報セキュリティ強化				
ガバナンス	・社会動向や外部環境変化、澤藤電機の企業風土を踏まえ、実効性のあるガバナンス体制へ進化させ、上記優先課題の目標達成を支える				

*1. 継続中のESG課題やCSRなどの取り組みと目指していること *2. ()内、2024年度目標 *3. Scope 1 + 2 + 3 *4. 澤藤電機(株)従業員の意識調査

2030年に目指す姿

強固な企業基盤構築と同時に、培ったコア技術を活かした環境対応商品と、財務健全化により、電動システムを主軸とした事業ポートフォリオに変革します。この取り組みを通じ、2030年には連結営業利益率を8%に伸ばし、将来のカーボンニュートラル社会に欠かせない、世界のサワフジを目指します。

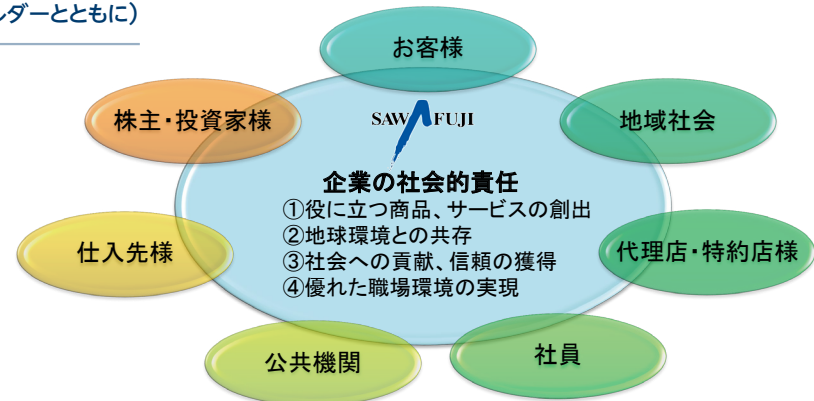


CSR への取り組み

澤藤電機は「良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄を与える」を基本理念として掲げています。

このことは、今日言われます CSR（企業の社会的責任 Corporate Social Responsibility）の精神に合致するものです。豊かで住みやすい社会の実現に貢献し、世界中のお客様の期待に応えることができる真のグローバル企業として成長していくことが、我々の使命であると考えています。この社会的責任を達成するには多くのステークホルダーとの連携・協力が不可欠です。これからも、企業活動を支えていただいているさまざまな立場の皆様とともに成長していくことを念頭におき、社会に対して責任を果たすことによって、企業価値の持続的向上に努めてまいります。

CSR 経営（ステークホルダーとともに）



CSR メッセージ

人と社会と地球に喜ばれる企業をめざして

私たち澤藤電機グループが CSR 経営を進めていく上で、ステークホルダーの皆様に対する私たちの想いを CSR メッセージとしてお伝えいたします。

- 【お客様とともに】私たちは、お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応える製品・サービスなどの提供に努めます。
- 【地域社会とともに】私たちは、環境への配慮、社会への貢献および法令遵守の3つの側面から地域社会、国際社会に貢献することを表明します。
- 環境的側面での貢献 事業活動を通じ、環境保全に努め、環境にやさしい製品の開発・提供を行うとともに、環境負荷の低減、地球温暖化防止、生物多様性の保全など、地球環境と調和しながら成長をめざします。
- 社会的側面での貢献 地域社会に貢献する良き「企業市民」をめざし、地域社会との密接な連携と協調を図り、地域発展の一翼を担います。
- 法令の遵守 法令その他の社会的規範を遵守するとともに、その精神をも尊重の上、公正で健全な企業活動を行います。また、官公庁・地方自治体など公共機関とは、健全で良好な関係を保ち、不正な利益供与は決して行いません。
- 【株主・投資家様とともに】私たちは、株主・投資家様の利益のために、長期安定的な成長を通じ企業価値の向上をめざします。また、適時適切な情報を開示して、企業活動の透明性に努めます。
- 【代理店・特約店様とともに】私たちは、代理店・特約店様の立場を尊重し、信頼関係を築き相互の発展・向上をめざします。
- 【仕入先様とともに】私たちは、事業活動を進めていく上で、取引にあたっては公正性と透明性を確保し、仕入先様の立場を尊重し信頼関係を築き、相互の発展・向上をめざします。
- 【社員とともに】私たちは、社員一人ひとりの人格・個性を尊重し成長を支援するとともに職場の安全、社員の健康を守り、心身ともに健全な職場環境を確保します。

SDGs への取り組み

澤藤電機は企業活動を通し、当社ならではの価値を提供することにより、
将来の社会課題解決に貢献し続けるサステナブルな企業を目指してまいります。
そのためには、企業の長期的成長が必要であり、ESG（環境、社会、ガバナンス）を意識した上での取り組みが必要となります。

中長期経営計画～長期構想「チャレンジ 2030」の優先取り組み課題と SDGs との関わり

「チャレンジ 2030」で設定された優先取り組み課題は、環境戦略、財務戦略、および企業基盤の整備を目的としており、各課題は SDGs を意識した内容となっています。

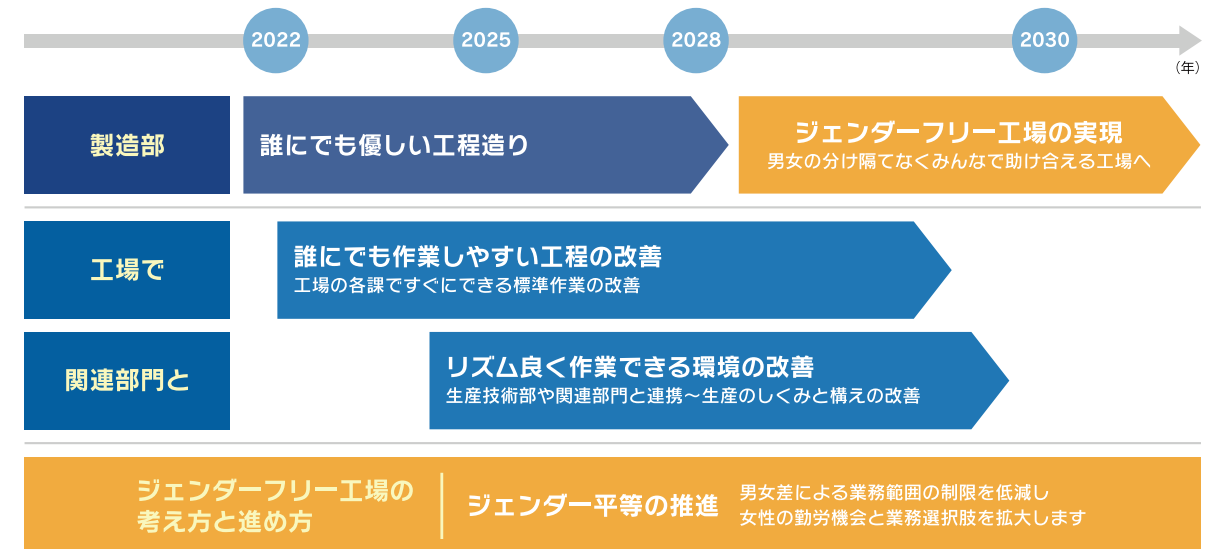


		チャレンジ2030の 優先取り組み課題	関連性の高いSDGs
環境・財務	環境（E）	地球温暖化防止	7 持続可能なエネルギー、9 産業・革新的な技術、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動
		環境負荷物質低減	3 持続可能な健康、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、14 持続可能な海洋資源
		大気汚染防止	12 持続可能な消費と生産、11 持続可能な都市とコミュニティ
		資源有効活用	12 持続可能な消費と生産
		水資源の節約	14 持続可能な海洋資源、15 陸域生態系
安心してチャレンジできる企業基盤	社会（S）	人財育成/人財活躍推進	4 質の高い教育、5 ジェンダー平等、10 公平な社会
		働き方改革/働きがい向上	5 ジェンダー平等、8 豊かで働きがいのある社会
		人権尊重	5 ジェンダー平等、10 公平な社会
		持続可能な調達	10 公平な社会、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動、16 平和と公正な社会、17 持続可能なパートナーシップ
		健康/安全衛生	3 持続可能な健康
	ガバナンス（G）	コンプライアンス	3 持続可能な健康、8 豊かで働きがいのある社会、10 公平な社会、16 平和と公正な社会
		情報セキュリティ強化	9 産業・革新的な技術
		ガバナンス	9 産業・革新的な技術

誰もが作業しやすい工程への改善

企業基盤を整備する際には、組織全体の活性化・効率化、生産性向上、個人のモチベーションアップなどが重要です。
その具体的な対策として、「誰もが作業しやすい工程への改善」を進めることも必要と考え、
就業環境、条件、人財育成等の取り組みと並行して、「実際の働きやすさ」についても取り組んでおります。

誰もが作業しやすい工程への改善推進ロードマップ



作業する人の手元へ部品を 1 台ずつ搬送

物の移動や持ち運びを最小限に

難しい組立や力のいる作業を設備化

カンやコツの必要な作業、重筋作業の低減

経 済 性 報 告

澤藤電機グループは、経営資源を効率的に活用することに努め、事業活動に基づいた売上、利益などの経営指標をグループ間で共有し、目標達成のため一丸となり、事業の拡充・原価収益の改善など企業の持続的な成長・発展をめざしています。

業績報告（2023 年度本会計における当社グループを取り巻く経済環境）

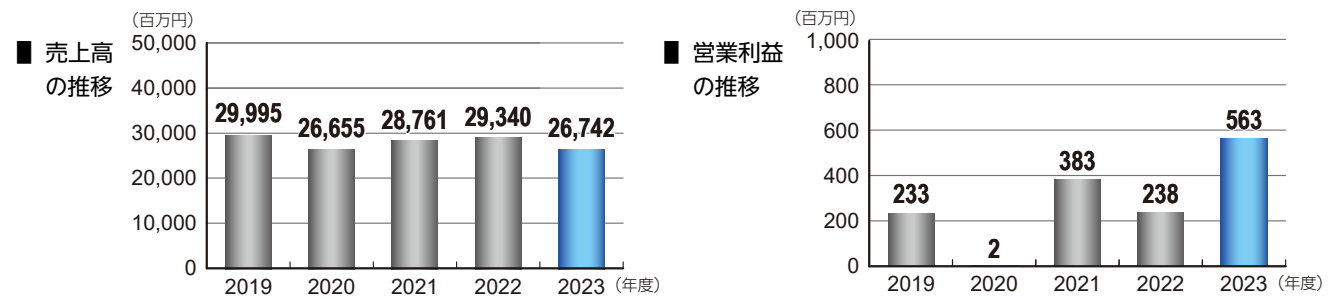
国内経済は、新型コロナウイルス感染症が第 5 類感染症へ移行し、行動制限や各種規制等が緩和されたことで緩やかな回復傾向がみられました。一方、海外経済については、持ち直しの動きが見られましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰が続き、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化など先行きは不透明な状況が続いております。

売上高は、前連結会計年度と比べ、25 億 98 百万円減の 267 億 42 百万円となりました。

営業利益は、前連結会計年度と比べ、3 億 25 百万円増の 5 億 63 百万円となりました。

2023 年度の業績

澤藤電機の 2023 年度（第 128 期）における連結決算は、下記の通りです。



営業品目および主な取引先

澤藤電機は、世界の各地域でその地域に適した製品を提供しています。

営業品目

■ 電装品

補給品	OEM 向け	澤藤電機 → OEM メーカー
	OEM 補給	澤藤電機 → OEM 部品センター
	国内一般	澤藤電機 → 代理店 → 特約店 → ユーザー
	海外向け	澤藤電機 → OEM 部品センター

■ 発電機

国内向け	澤藤電機 → OEM メーカー
	澤藤電機 → 代理店 → 特約店 → ユーザー
海外向け	澤藤電機 → 代理店 → 販売店 → ユーザー
	澤藤電機 → 商 社 → 代理店 → 販売店 → ユーザー

■ 冷蔵庫

国内向け	澤藤電機 → OEM メーカー
	澤藤電機 → 代理店 → 特約店 → ユーザー
海外向け	澤藤電機 → 販売子会社 → 販売店 → ユーザー
	澤藤電機 → 代理店 → 販売店 → ユーザー
	澤藤電機 → 商 社 → 代理店 → 販売店 → ユーザー

黄 色：OEM
緑 色：商社、代理店
オレンジ色：販売店、特約店
紫 色：ユーザー

※ 発電機および冷蔵庫については、製品・補給品ともに、同じルートで提供しています

主な取引先

国 内：日野自動車（株）、（株）デンソー、いすゞ自動車（株）、（株）小松製作所、三菱重工業（株）、トヨタ車体（株）、本田技研工業（株）、（株）クボタ、ヤンマーホールディングス（株）、日立 Astemo（株）、三輪精機（株）など
海 外：ENGEL DISTRIBUTION、HOECO HANDELS、I・M・D、DESERT COOL、ROBIN MACHINERIES、WACKER NEUSON、LEAD ACCESS、KHUSHEIM COMPANY など

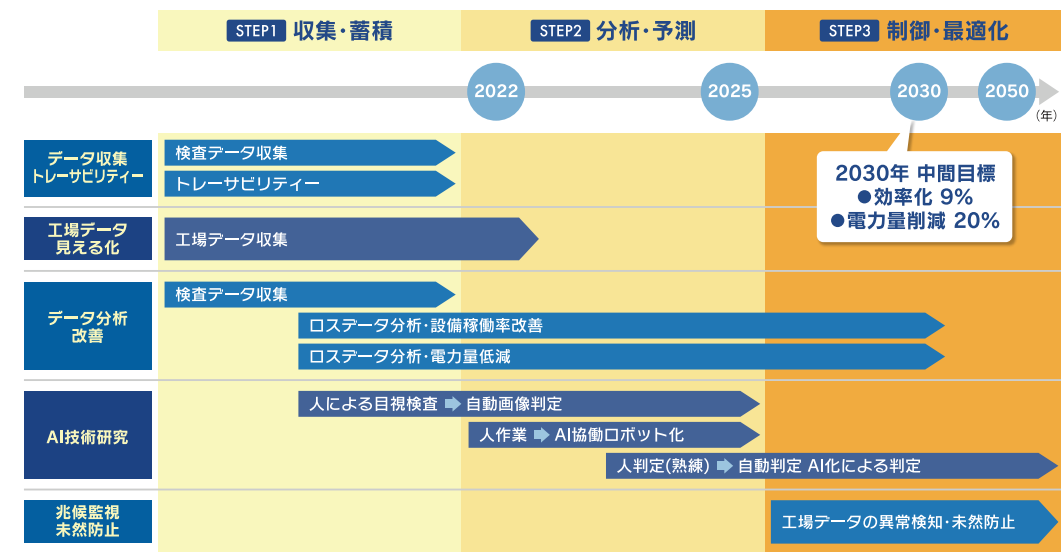
IT、IoT、AI の活用による経済性改善

澤藤電機では IT、IoT、AI の活用による業務プロセスの効率化や精度向上、省電力化、不良品発生 の未然防止等による品質向上への取り組みにより、生産性向上を図っております。

これらは働き方改革・労働生産性向上にも寄与し、経済性改善につながります。

澤藤電機はこれらの取り組みにより、持続可能な成長と企業価値向上の実現を目指します。

AI自動判定化による未然防止 ▶ 業務効率向上



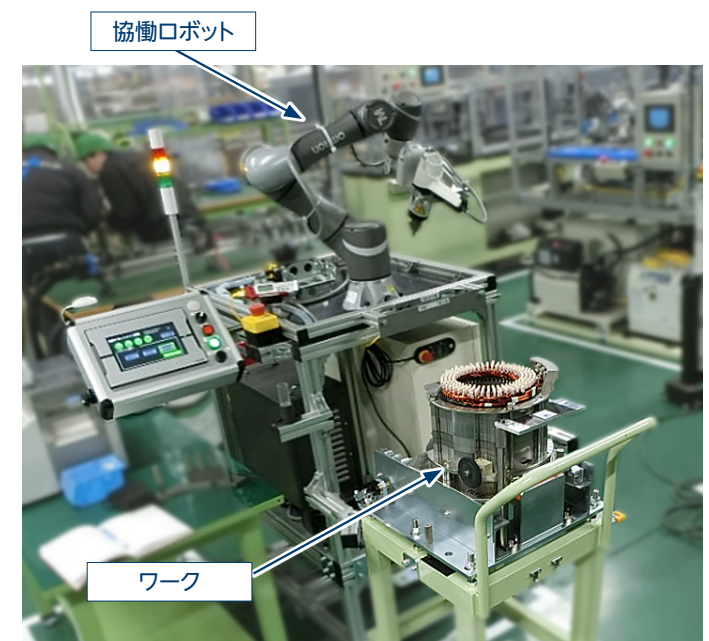
協働ロボット採用で熟練作業者の作業ノウハウを再現し効率化



改善前

熱収縮チューブ

作業者がヒートガンで絶縁用熱収縮チューブを目視で確認しながら加熱し収縮させていた。



改善後

協働ロボットを採用したことで、安全柵不要で設置ができ、人とロボットが同じ空間で作業することができている。

環 境 報 告

環境方針

澤藤電機は、安全・安心なモノづくりにより、お客様の期待に応えた製品・サービスを提供するとともに、自然と調和する新しいエネルギー社会の創造に向け、次世代技術の開発を推進し、「美しい地球環境を将来へ受け継ぐ社会づくりに貢献する企業」を目指します。

- (1) 私たちは、持続可能なエネルギーの利用により、「カーボンニュートラル実現」に向けて取り組みます。
- (2) 私たちは、性能向上と環境負荷低減の両立を目指した開発・設計を推進します。
- (3) 私たちは、生産活動や製品・サービスが周辺環境、資源、気候変動、生態系へ与える影響を把握し、汚染を防止し、環境保護に努め、継続的改善を約束します。
- (4) 私たちは、環境関連法規制、および取り決められた要求事項を遵守し、従業員一人ひとりが社会的責任を果たします。
- (5) 私たちは、企業市民として地域社会とのコミュニケーションを積極的にはかります。

制定 1997年5月
改定 2022年6月

澤藤電機株式会社
代表取締役社長 兼 執行役員社長
井 上 雅 央

環境取り組みの考え方

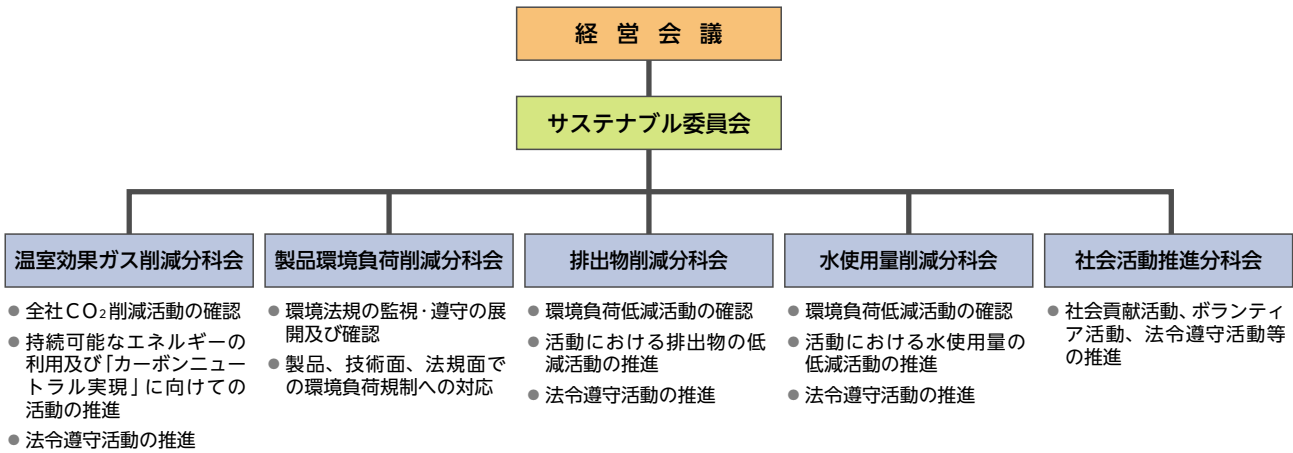
澤藤電機は、経営理念に基づいた「環境方針」を定め、環境マネジメントシステムを構築し、国内外における条約や法令を遵守しています。また、環境課題を認識して社内はもとより、地域、地球の環境に対し持続可能な環境取り組みを実施しています。

環境マネジメント

環境マネジメント推進体制

澤藤電機は、環境保全活動を推進するために、全社的組織として社長に任命された環境管理責任者を委員長とする「サステナブル委員会」を設置し、基本方針の決定と環境にかかわる諸活動を推進しています。

また、専門分科会を設けて各分野における実行推進をしています。



環境マネジメントシステム運用

澤藤電機は、1997年にISO14001の環境マネジメントシステムを認証取得してから適切に機能していることをチェックするため、毎年定期的に内部環境監査、ISO 審査機関による外部審査を実施し、環境マネジメントシステム運用について継続的な改善に取り組んでいます。



目標と実績

澤藤電機は、各環境活動において取り組み方針、目標値を設定して全社を挙げて目標達成のために全力で取り組んでいます。2030年に向けて、今後は、サステナブル委員会を中心とした各分科会の目標値・評価指標を一貫性のあるものにし、積極的な環境保全に取り組んでいきます。

2023年度における取り組み方針、目標値、実績と2030年度目標値は次の通りです。

項目	取り組み方針	2023年度目標値	2023年度実績結果	評価	2030年度目標値
地球温暖化防止	生産活動におけるCO ₂ 低減対策の積極的な推進 ● ITを活用した電力の見える化により無駄な電力の削減 ● 再生可能エネルギーの積極的な活用	Scope1 & 2を2022年度対比マーケット基準で58.9%低減(3,154 t-CO ₂ 減)	58.5% 減 (3,134 t-CO ₂ 減)	🟢	Scope1 & 2を2013年度対比マーケット基準で77%低減(1,383 t-CO ₂) 2023年度実績:2,222 t-CO ₂
環境負荷物質の管理・低減	製品に含まれる環境負荷物質の削減 生産活動におけるPRTR対象化学物質の排出量低減	法規制および得意先基準を遵守するための代替化推進 PRTR対象化学物質排出量2022年度対比23.4%低減(2,890kg 減)	継続 41% 減 (5,060kg 減)	🔴	法規制および得意先基準を遵守するための代替化推進 PRTR対象化学物質排出量2020年度対比66.6%低減(10,000kg 減)
排出物低減と省資源	生産・物流活動における排出物の低減と資源の有効利用	排出物等排出量2022年度対比1.9%低減(148kg / 百万円)	8.7% 低減 (138kg / 百万円)	🔴	生産出来高金額対比排出物等排出量2015年度対比16%低減
水資源の節約	生産活動における水使用量の低減活動の推進	水使用量2022年度対比1,725m ³ 低減(3.7% 以上減) 45,489m ³ 以下	7.7% 減:3,633m ³ 減 (43,581m ³)	🔴	水使用量2015年度対比30%低減(2027年度までに前倒し) 41,495m ³ 以下

事業活動における投入資源と排出環境負荷（1）

澤藤電機の事業活動により生み出された製品や使用されたエネルギーは、廃棄物や CO₂ となって排出され、

環境に影響をおよぼします。効率的な環境負荷低減活動を推進するため、

INPUT（エネルギー・資源の投入量）と OUTPUT（製品および排出環境負荷物質質量）を把握し、環境保全に取り組んでいます。

■ エネルギー資源投入量

エネルギー投入量			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
再生可能エネルギー	電力	合計	澤藤電機	MWh	98	98	101	3,354	9,466
		（購入量：非化石証書含む）	澤藤電機	MWh	0	0	0	3,261	9,375
		（自家発電量：太陽光）	澤藤電機	MWh	98	98	101	93	90
非再生可能エネルギー	電力	合計	澤藤電機	MWh	10,627	9,792	10,591	10,197	88
		電力	澤藤電機	MWh	10,597	9,762	10,544	10,111	0
		コージェネ発電	澤藤電機	MWh	30	30	47	86	88
	燃料	A 重油	澤藤電機	kL	14	9	15	26	27
		ガソリン	澤藤電機	kL	32	26	23	21	17
		灯油	澤藤電機	kL	144	147	149	161	161
		軽油	澤藤電機	kL	6	3	3	4	2
		プロパン	澤藤電機	t	167	165	179	177	176

■ 温室効果ガス排出量

温室効果ガス量			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排出量	CO ₂	澤藤電機	t	4,915	4,585	4,930	3,611	1,056
		5 ガス	澤藤電機	t	0	0	0	0	0

■ 温室効果ガス（物流）排出量

温室効果ガス量（物流）			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排出量	CO ₂ （総量）	澤藤電機	t	425	395	415	401	245

■ 大気への排出ガス量

大気への排出ガス			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排出量	SO _x	澤藤電機	t	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		NO _x	澤藤電機	t	0.5	1.2	2.4	2.2	2.3
		ばいじん	澤藤電機	t	0.09	0.04	0.07	0.07	0.16

事業活動における原材料投入量と廃棄物の排出量

■ 原材料投入量

材料			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	投入量	主要原材料	澤藤電機	t	9,160	9,160	9,574	9,393	7,679
		鉄	澤藤電機	t	7,470	7,470	7,916	7,805	6,311
		銅	澤藤電機	t	670	670	665	693	649
		アルミ	澤藤電機	t	740	740	716	574	545
		樹脂材料	澤藤電機	t	280	280	277	264	174

■ 廃棄物の排出量

廃棄物			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排出量	廃棄物（総量）	澤藤電機	t	402	400	378	387	370

事業活動における投入資源と排出環境負荷（2）

事業活動における水資源投入量と排水量

■ 水資源投入量

用水			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	投入量	合計	澤藤電機	m ³	47,812	48,731	58,234	47,214	43,581
		市水	澤藤電機	m ³	4,762	4,797	4,841	4,928	4,836
		井戸水	澤藤電機	m ³	39,372	40,318	47,000	38,825	36,513
		工業用水	澤藤電機	m ³	3,678	3,616	6,393	3,460	2,232

■ 排水量

排水			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排水量	早川への総排水量	澤藤電機	m ³	58,163	48,426	50,098	33,510	30,020
		BOD	澤藤電機	t	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		COD	澤藤電機	t	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1

※ BOD・COD マイクロバイオ排水浄化剤（固形微生物製剤）

事業活動における化学物質投入量と排出量

■ 化学物質投入量

化学物質			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	投入量		澤藤電機	t	37	32	37	30	23

■ 化学物質排出量

化学物質			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	排出量	スチレン	澤藤電機	t	1.3	1.1	1.2	1.1	1.0
		キシレン	澤藤電機	t	8.0	6.2	7.9	3.2	1.6
		トルエン	澤藤電機	t	4.3	4.0	4.7	4.5	2.8
		その他	澤藤電機	t	2.2	2.1	2.5	2.6	1.5

■ 輸送燃料量

輸送燃料			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	量	燃料	澤藤電機	kL	157	150	157	152	93

■ 包装梱包材量

包装梱包材			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	量	梱包材	澤藤電機	t	134	105	127	117	92

■ 再利用材量

再利用材			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	量	再利用材	澤藤電機	t	4.2	4.6	4.8	4.0	3.2

■ 製品台数

製品			範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	台数	発電機	澤藤電機	台	70,583	54,220	64,164	60,777	34,093
		冷蔵庫	澤藤電機	台	74,164	66,251	64,285	60,066	51,556
		電装品	澤藤電機	台	1,041,001	898,633	996,479	883,820	827,621

環境への取り組み内容 (1)

環境リスクへの対応

澤藤電機は、工場の生産活動をサポートする特別高圧受変電所、自家発電のコジェネレーションシステム、ボイラー、給排水施設、廃棄物保管施設などの環境関連施設および約 2,000 台の生産設備を運転して操業しています。

施設、設備の運転により発生する環境負荷物質については、関連法規制や県条例、太田市との環境汚染防止協定を遵守し、定期的に監視しています。

また、環境リスクの洗い出しを進め、リスク再評価に取り組むとともに、環境事故の未然防止とリスクの最小化をめざします。

さらに、想定される緊急事態について、環境に影響をおよぼさないように訓練を実施しています。近隣の地区役員の方々と 2 カ月に 1 回情報交換を図り、工場周辺にお住まいの方々に安心いただけるよう、災害の未然防止に努めています。

環境教育・啓発活動

環境マネジメントシステムを有効に機能させるために、全社員および構内作業業者様を対象とした環境教育を実施しています。また、全社員が環境保全意識を高めて行動するために、「環境方針」を記載したサステナブルカードを携帯しています。

さらに、各職場で展開した省エネ省資源の優秀な改善事例を、毎年 2 月に実施する省エネ月間キャンペーンで選出して表彰し、啓発に役立てています。その他、資格を要する特殊業務については資格取得の教育を支援しています。緊急対応教育や環境汚染防止教育などについても継続的に行っています。

排出物等低減と省資源

■ 社内リサイクルセンター分別講習会

環境教育の一環として廃棄物の処置ルールの周知徹底を図るため、また、廃棄物を細分別化しリサイクルのより一層の促進のため、2024 年 6 月 7 日・13 日に「リサイクルセンター分別講習会」を実施しました。各職場の代表者が講習を受け、自職場へ教育を実施し、分別の間違いや災害、トラブルの未然防止に努めています。



リサイクルセンター分別講習会の様子

■ 緊急事態処置訓練

設備の潤滑油を運搬中に誤って転倒し、路上に漏洩した事態を想定し、緊急事態処置訓練を行いました。

土のうを使ったせき止め処置やエマージェンシーキットからオイルフェンスを取り出して、油拡散の防止処置および通報手順を確認しました。(2024 年 3 月 13 日)



訓練参加者の様子



土のうでせき止め処置



オイルフェンスで油拡散の防止処置

省エネ・省資源、改善事例									
品名	数量	単位	消費	削減	削減率	削減効果	削減効果	削減効果	削減効果
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%
省エネ・省資源	100	台	100	100	100%	100%	100%	100%	100%

省エネ省資源の最優秀改善事例

環境への取り組み内容 (2)

環境会計

澤藤電機は、環境活動を行う上で環境省の「環境保全コストの把握および公表に関するガイドライン」を参考に環境会計を導入しています。環境保全コストを管理し、環境保全対策の費用対効果を分析することで、効率的かつ効果的な環境取り組みを推進しています。

環境保全、研究開発、設備投資、リサイクル活動などの環境取り組みに経営資源を投入し、環境への取り組みの強化を継続的に推進しています。

■ 環境保全コスト

費用	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業所エリア内コスト	大気汚染、水質汚濁など公害防止コスト 省エネ対応などの地球環境保全コスト リサイクルや廃棄物適正処理の資源循環コスト	澤藤電機 百万円	370	285	363	190	280
上・下流コスト	製品のリサイクルや回収・適正処理のためのコスト グリーン購入など環境負荷低減のための追加コスト	澤藤電機 百万円	—	—	—	—	—
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備・運用コスト 環境負荷の監視コスト 環境情報開示や社員への教育コスト	澤藤電機 百万円	65	57	37	65	99
研究開発コスト	環境保全対応製品の研究開発コスト 環境負荷抑制の研究開発コスト	澤藤電機 百万円	239	315	518	316	246
社会活動コスト	緑化、美化など環境改善支援対応コスト 地域の環境活動など、社会貢献対応コスト	澤藤電機 百万円	1	—	—	—	—
環境損傷コスト	自然修復のためのコスト	澤藤電機 百万円	—	—	—	—	—
合計		百万円	675	657	918	571	625

※ 百万円未満は — にて記載しています

■ 環境保全効果

費用	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
収益	リサイクルによる売却益	澤藤電機 百万円	26	39	115	99	78
省エネ	コジェネレーションシステム、 太陽光発電システム、 省エネ活動による改善効果	澤藤電機 百万円	12	7	2	2	2
省資源	省資源・リサイクル活動による改善効果	澤藤電機 百万円	1	1	—	—	—
合計		百万円	39	47	117	101	80

※ 百万円未満は — にて記載しています

カーボンニュートラルの取り組み (1)

地球温暖化の原因のひとつは、CO₂などの温室効果ガスといわれています。

このままの状況が続けば、更なる気温上昇が予測されており、

今までにない大きな気候変動、生態系の破壊、食糧・水不足など深刻な影響をおよぼします。

当社は「カーボンニュートラルの達成」に向けて、さまざまなチャレンジに目標を定め、

中長期的な計画とロードマップを作成し、全力で取り組んでまいります。

カーボンニュートラルに向けた宣言

2030 年 中期目標	生産活動における排出 (Scope 1 & 2)、及びサプライチェーンでの排出 (Scope 3) 削減を推進します。
2050 年 長期目標	バリューチェーン全体 (Scope 1 & 2 & 3) で、2050 カーボンニュートラルを目指します。

2030 の目標／取り組み

2030 目標		主な取り組み
Scope 1 & 2	▲ 77% 2013 年度比	- 化石燃料の使用低減、省エネの推進／強化 - 再生可能エネルギーの自給推進
Scope 3	▲ 50% 2013 年度比	- Category 1 購入品:仕入先様と取り組むカーボンニュートラル - Category 11 販売した製品:電動システム事業の推進（事業転換）

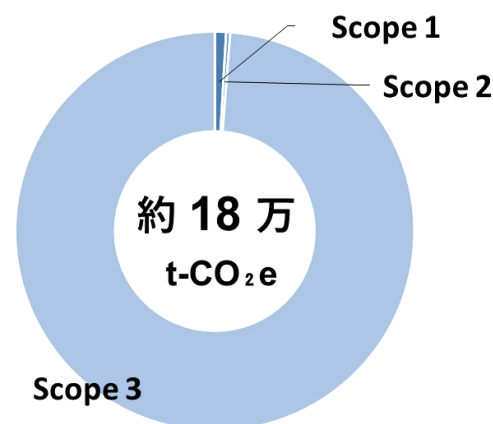
澤藤電機のサプライチェーン排出量(2023年度 実績)

サプライチェーン排出量（企業活動に伴う温室効果ガスの総排出量）を環境省の算定ガイドラインに沿って算出しました。

Scope 1 :
事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope 2 :
他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3 :
Scope 1、Scope 2 以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）



Scope 1 : 化石燃料	0.9%
Scope 2 : 電力	0.3%
Scope 3 : 上記以外の間接排出	98.8%

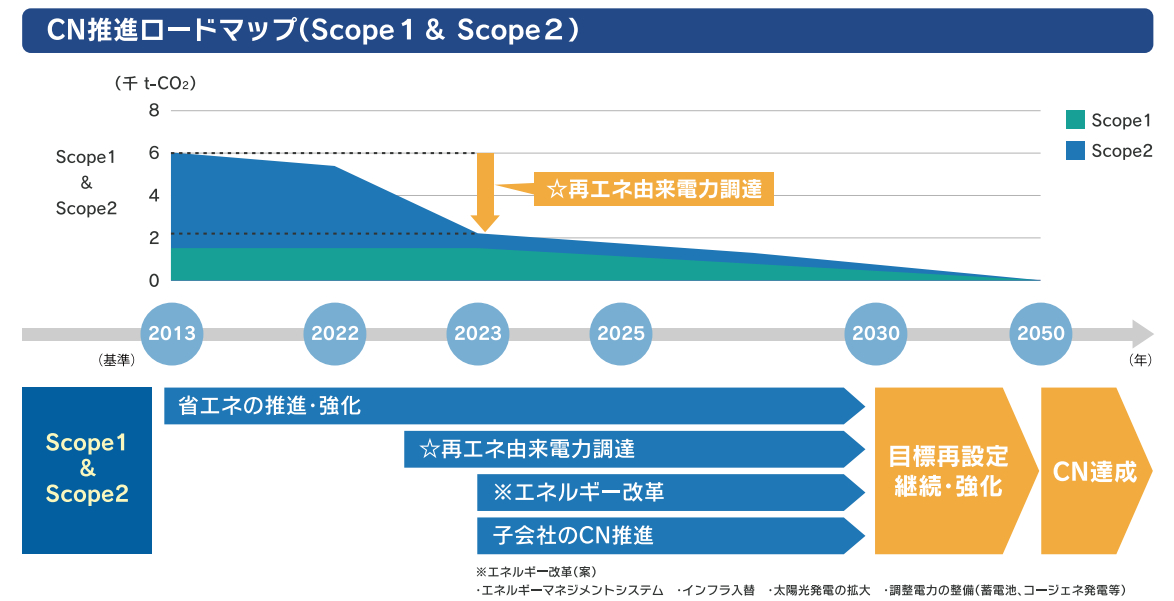
Scope 3 内訳

Category 1：購入した製品サービス（購入品・支給品）	51.3%
Category 11：販売した製品の使用（発電機 冷蔵庫）	43.9%
その他の Category：	3.6%

※ 算定方法、Scope 3 の該当する Category の詳細は、後述の環境データ P.39 を参照

生産活動における排出 (Scope 1 & 2) ロードマップ

生産活動における排出（Scope 1 & 2）については、省エネの推進・強化、エネルギー改革等を推進し、2050 カーボンニュートラルを目指します。



再生可能エネルギー由来電力調達

2022 年 12 月
当社 Web ページ公表内容

澤藤電機は、2022 年 12 月 1 日より、本社・新田工場における購入電力の全量(100%)を実質 CO₂ 排出量ゼロの電力プラン^{*1}にて調達しております。

2023年度は1年間を通じて当電力プランにて調達し、購入電力（約9,300 MWh）によるCO₂排出量は実質ゼロとなり、年間約4,100トン^{*2}の削減を見込んでおります。

※ 1 「グリーンバシックプラン」
東京電力エナジーパートナー様が提供する再生可能エネルギー由来の発電による
実質 CO₂ 排出量ゼロの非化石証書（環境付加価値）を使用した電力プラン

※ 2 環境省 電気事業者別排出係数 令和 6 年度提出表より

太陽光発電システムの稼働

澤藤電機は、太陽光発電システム（100 kW）を 2007 年 2 月から稼動しており、2023 年度は約 9.0 万 kWh を発電しました。この発電量は当社電力使用量の約 1% に相当し、年間約 40 トンの CO₂ 排出量の低減に貢献しています。

引き続き、定期的なメンテナンスにより発電量を維持するとともに、今後の建屋建設の際には新たに太陽光発電システムを導入するなど、積極的に再生可能エネルギーを活用していきます。



非化石証書の通知

非化石証書量(2023年12月)
群馬県の水力発電設備からの電力であることが記載されている



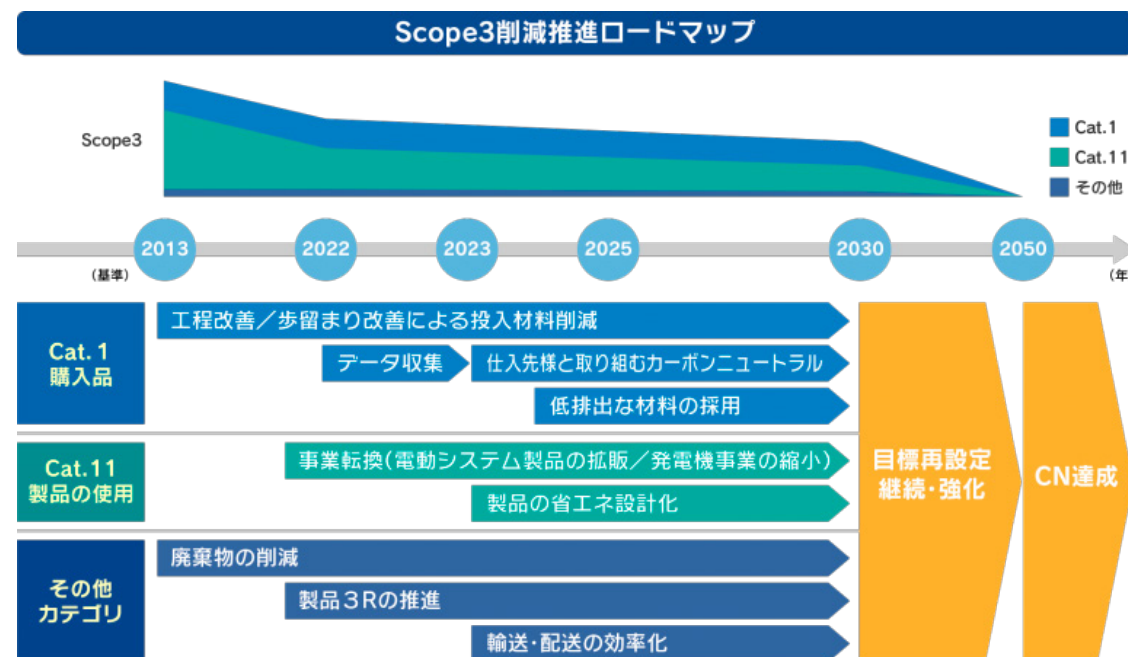
太陽光発電パネル

環境報告

カーボンニュートラルの取り組み（3）

サプライチェーン上の間接排出（Scope 3）の削減ロードマップ

サプライチェーンの排出量における（Scope 3）算定を行い、大きな割合を占める、Category 1「購入品に関する排出」・Category 11「販売した製品の使用に関する排出」を重点として、2050 カーボンニュートラルに向けた取り組みを開始しました。



仕入先様と取り組むカーボンニュートラル（環境説明会の開催）

主要な仕入先様を対象に、カーボンニュートラルの取り組みの説明、およびご協力をお願いのため、3 回目となる環境説明会（調達方針説明会と同時開催）を実施いたしました。

環境説明会では、昨年度に引き続き、各仕入先様の取り組み状況やご提出いただいた排出量データの活用状況を情報発信させていただきました。2023 年度のトピックスとして、省エネ診断※を活用した脱炭素支援の事例紹介させていただきました。

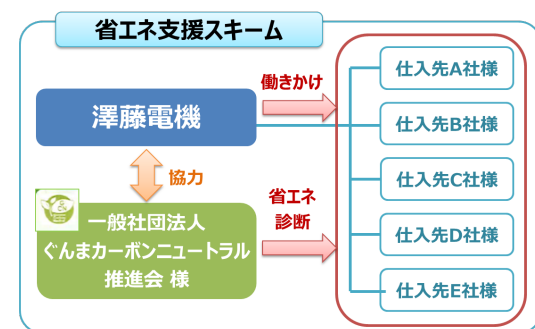
見通しが難しい環境取り組みではありますが、2024 年度も仕入先様とともに脱炭素に向けて活動を推進してまいります。

※ エネルギーの専門家が事業所を診断し、省エネ取り組みに対して現状把握から改善までサポート。
経済産業省の支援事業「省エネお助け隊」として採択された一般社団法人ぐんまカーボンニュートラル推進会様にご協力いただいた。

第 3 回 環境説明会 (2024 年 3 月 26 日)



環境説明会の様子 登壇者 経営企画部 丸橋部長



カーボンニュートラルの取り組み（4）

澤藤電機の脱炭素の取り組み「仕入先様と取り組むカーボンニュートラル」は、サプライチェーン排出量の Scope 3 の低減活動であることから、社外からも高い評価をいただいております。2023 年度は積極的な推進事例として社外へ情報発信する機会を 3 件いただきました。

“2050 カーボンニュートラル” に向け、社内外問わず様々な角度から取り組んでまいります。

「群馬県 令和 5 年度 脱炭素経営戦略相談会 キックオフセミナー」参加

YouTube 公開中



日 時 2023 年 5 月 12 日 (金) 13:30—15:30
場 所 NETSUGEN (群馬県庁 32 階) + Zoom ウェビナー
タイトル 澤藤電機の脱炭素戦略～脱炭素経営戦略相談会を受けて
アーカイブ配信 ● <https://www.youtube.com/watch?v=dvWSYIWSRIU>

登壇者 SDGs・CN 推進課 関口さん

「第 3 回 省エネ脱炭素経営セミナー in 太田」参加



日 時 2023 年 11 月 29 日 (水) 13:30—15:30
場 所 テクノプラザおおた 産学研究棟 5 階 研究室 4
タイトル 澤藤電機の脱炭素戦略～仕入先様と取り組むカーボンニュートラル
新聞掲載 ● 上毛新聞 2023 年 12 月 5 日 (火) 紙面 (11) 北関東経済
Web 掲載 ● 朝日ぐんま 2023 年 12 月 8 日 (金) 省エネや脱炭素の取り組み紹介

登壇者 サステナブル戦略室 大見山さん

「関東経済産業局 中小企業向け省エネ事例紹介

YouTube 公開中



タイトル 省エネ診断を活用した仕入先様への脱炭素支援 Scope 3 カテゴリー 1 取り組み事例
Web 掲載 ● 経済産業省 関東経済産業局 中小企業向け省エネ事例紹介
https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sho_energy/sho_energy_shindan.html
動画配信 ● 経済産業省 YouTube チャンネル “metichannel” 「中小企業向け省エネ事例」
<https://www.youtube.com/watch?v=G9JGo-bgUlk>

動画出演 下山専務執行役員

カーボンニュートラルの社内教育

社内にカーボンニュートラルの考え方を浸透させるため、2023 年度はカードゲームを使用した社内教育を 2 回実施しました。講師には、一般社団法人ぐんまカーボンニュートラル推進会の黒岩様をお招きしました。

参加者からは「カードゲームを通じて、楽しく、分かりやすくカーボンニュートラルについて学ぶことができた」、「社員同士のコミュニケーションの場としても良い活動だと思うので、全社員が一度は実施するまで継続して欲しい」と開催後のアンケート結果も大好評でした。今後も、カーボンニュートラル社内教育を通して、その必要性や難しさを学び、新しい課題にチャレンジしていけるよう推進いたします。

第一回
 2024 年 2 月 16 日 (金)
 一般職向け 参加者 30 名
 (省エネ月間講習会)

第二回
 2024 年 3 月 15 日 (金)
 管理職向け 参加者 22 名



ゲームの説明をする講師の黒岩様



第一回の開催風景



第二回の開催風景

製品開発における環境取り組み（1）

澤藤電機は、2050 年カーボンニュートラル実現に向けて、多くの業界における「電動化の大波」に確実に乗れるよう、独自のコア技術を生かした製品開発に注力します。

商用車や農建機などのプロフェッショナルユーザーの電動化ニーズに対応するため、開発体制構築やコア技術の進化を実現する人材育成の取り組みも開始しました。

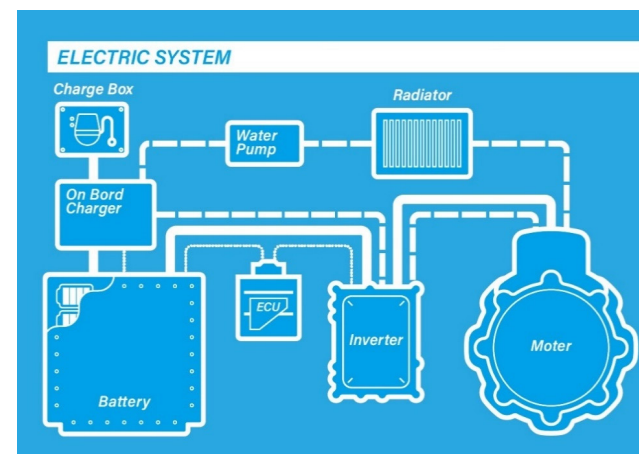
これらの活動により、お客様の困りごと解決や、差別化による競争力の確保、更に、グローバルな展開へと結びつけ、企業価値を創造してまいります。



商用農建機用電動システム開発

急速な乗用車の電動化が進むなか、商用車や農建機など働く車の電動化のニーズも高まっています。澤藤電機はお客様のニーズに合わせ、モーター、インバータ、バッテリー、冷却システム及びこれらを制御する車載コンピュータ（ECU）を含めた電動システムとして自己完結し、様々な電動化用途に対応する商用農建機用電動システムを開発中です。

開発する電動システムのイメージモデル



製品開発における環境取り組み（2）

澤藤電機は、従来製品についても、より環境負荷の少ない製品づくりに取り組んでいます。

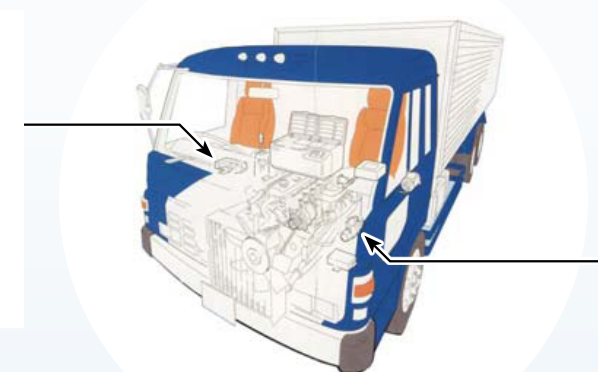
製造過程・製品使用時・製品使用後の CO₂ 排出量を低減するために、省資源・軽量化、リユースに配慮した製品開発を進めています。

■ 軽量化車載用コンピュータ

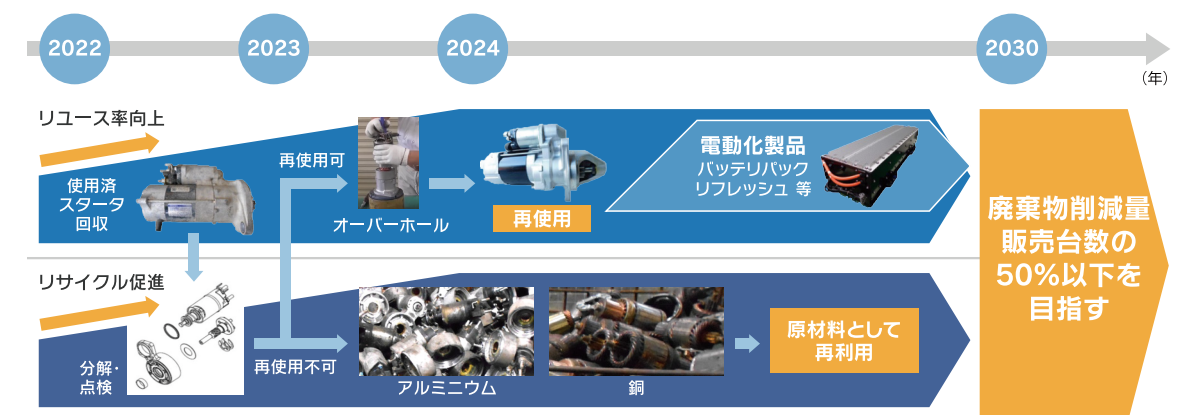
澤藤電機では、カーボンニュートラルに貢献する製品開発として EV トラック用車載コンピュータ（ECU）など、各種電子製品の開発を行っています。さらに、大・中トラック用として、従来対比約 46%軽量化した ECU を開発し、燃費の改善および物流の効率化に取り組んでいます。

■ 軽量化アイドリングストップ用スタータ

澤藤電機では、スタータの長寿命化を図り、頻繁なエンジン始動にも耐え得るアイドリングストップ用スタータを開発し、燃費低減（CO₂ 排出量低減）に貢献をしています。さらに、小型トラック用として、従来対比約 12%軽量化したスタータを開発し、2019 年より生産開始いたしました。



リユースを配慮した製品づくりのロードマップ



環境報告

製品開発における環境取り組み（3）

冷蔵庫における環境取り組み

澤藤電機の冷蔵庫は、省エネ性を高め、温室効果ガスの排出低減に向け挑戦を続けています。



高性能断熱材の採用

冷蔵庫には断熱性能の良い、高密度発泡ウレタン材を採用し、発泡ガスには GWP*の低いシクロペンタンを採用しています。

制御電源の小型軽量化・低消費電力化

2024 年より、制御電源をリニューアルし、小型軽量化を実現しました。
重量 40%削減、制御基板サイズ 48%削減。
更に、制御方式の効率改善により、AC 駆動時の消費電力を従来製品対比 41%低減させることが可能になりました。

カラー鋼板の採用

取り組み中課題

冷蔵庫筐体を塗装からカラー鋼板に変えることで、製造過程における塗装工程の廃止を目指しています。
生産における CO₂ 排出量の低減に向け取り組み中です。

低 GWP*冷媒への代替

取り組み中課題

冷蔵庫の冷却原理は、放熱器や圧縮機からなる冷凍回路内に冷媒を循環させ、蒸発器を冷却させて庫内を冷やします。
現在、澤藤電機では、HFC 冷媒からより GWP*の低い HFO 冷媒の採用に向け、製品評価を進めています。

※ GWP
地球温暖化係数

事業活動における環境取り組み

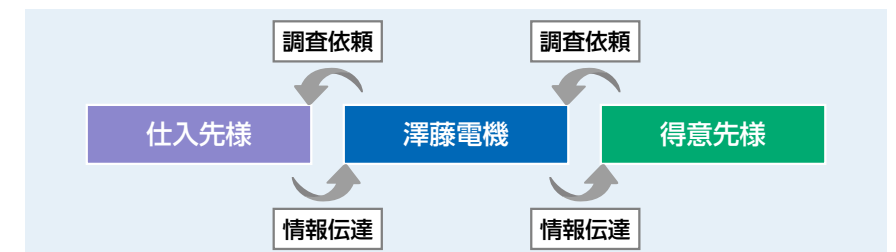
製品含有化学物質管理の取り組み

澤藤電機は、製品環境関連法規制^{※1}や得意先様の関連基準等の要求事項を遵守するための取り組みを行っています。国内外の環境法規や業界動向の情報を取り入れ、法規制により使用禁止が見込まれる物質については、製品環境負荷削減分科会にて積極的な削減に取り組んでいます。また、製品中の含有化学物質の管理は、IMDS^{※2}を活用し、得意先様の要求事項に応じて情報伝達を実施しております。

これらの取り組みを運用するためには、仕入先様のご協力が必要です。仕入先様へ働きかけとして、澤藤グリーン調達ガイドラインを発行し、含有化学物質の管理の徹底をお願いしております。

製品環境の調査フロー

速やかな情報伝達ができるよう、仕組み整備に取り組んでいます。



3R の取り組み

澤藤電機は、循環型社会構築のために、資源を大切にし、再利用できるものは再利用し、再利用できないものは再資源化をする 3R を推進しています。

3R
Reduce リデュース
Reuse リユース
Recycle リサイクル

リデュース 廃棄物の発生抑制を行うこと

形状変更・工法改善などにより、廃棄物発生抑制を図っています。



リユース 再利用すること

不要になったダンボールや空き箱を利用して、製品梱包時のクッション材などに再利用しています。



リサイクル 再資源化を行うこと

樹脂廃棄物を粉砕し、原材料に適切な割合で混合することでリサイクルしています。



環境報告

生産活動における環境取り組み（1）

エネルギー使用量低減の取り組み

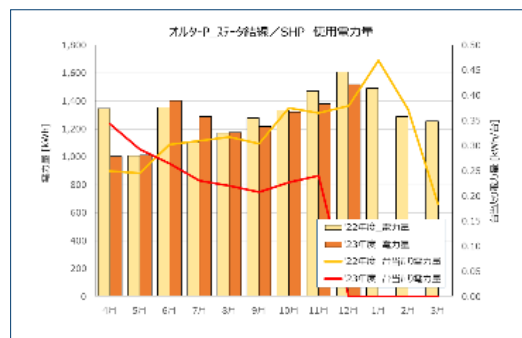
“ 温室効果ガス削減分科会 ” にて、生産活動における電力量と化石燃料の使用量削減を推進しています。低減に向けては、現状把握 / 可視化 / 情報共有をした上で、方策の立案 / 具体的な削減推進に取り組んでいます。

エネルギー供給部署 / 使用部署 / 管理部署を横断した活動を推進するなど、取り組みを加速しています。

カーボンニュートラルに向けた取り組み

電力量をはじめとするエネルギー使用量の低減に向けては、現状把握、可視化、情報共有が必要不可欠と考え、エネルギー供給部署、使用部署、管理部署を横断して、対策を推進するなど取り組みを加速しています。

工程別電力量の
グラフ化



電力量の計測



ボイラー運転時間の最適化

各部署での電力使用量低減取り組み

生産設備における電力使用量低減取り組みとして、1 日の電力量データから待機電力に着目し、昼休み等の非稼働時には電源 OFF とする活動を実施しています。また、工場における冷房専用空調機室外機においても待機電力があり、冬季の未使用期間には電源 OFF にすることにしました。これら電源 OFF 活動により、約 15 トンの CO₂ 排出量削減効果を見込んでいます。

そのほか、大容量設備の改善、生産状況に合わせた工程の最適化、老朽化設備の更新による高効率化など、様々な面において電力使用量削減に努めています。



設備への昼休み電源 OFF 可能表示



冷房専用空調機室外機の冬季電源 OFF

水使用量削減に向けた社内体制

『水』も限りある資源とし、水使用量削減分科会の活動を通して会社全体の使用量を低減させる活動を実施しています。

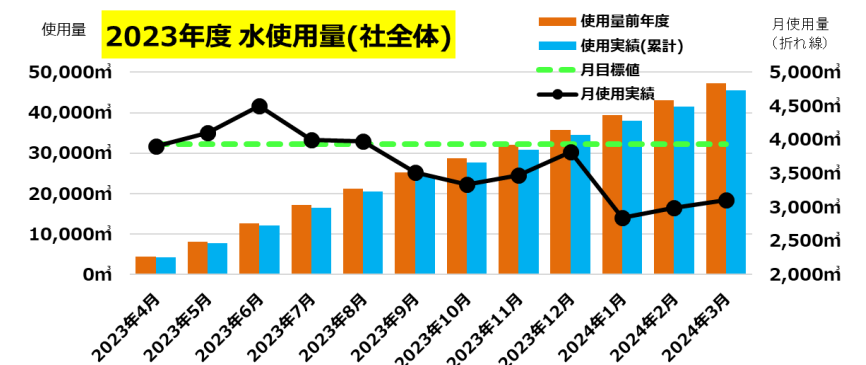
【目標値】

2030 年度までに 2015 年度使用実績の 30%以上削減
60,984 m³ ⇒ 42,689 m³以下

水使用量削減に向けた取り組み

- 日々監視し異常値を発見し対応すること
- 改善の有効性を毎月監視

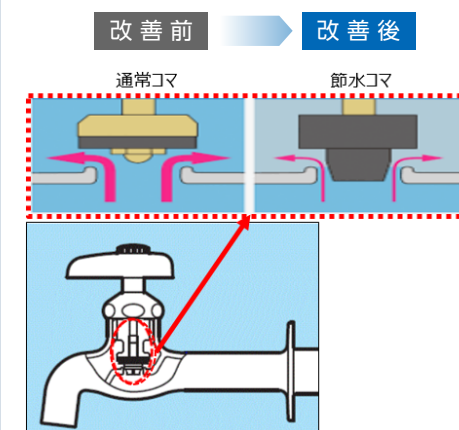
諸施策の結果、
黒の折れ線が右肩下がり
となっている



各部署での水使用量低減取り組み

- 池の水の流量管理（冬場 or 夏場で基準値を変え流量管理）
流しっ放し ⇒ 1 日の流量を管理
- トイレの自動洗水の『間隔 + 流量』を見直し使用量削減
- 『節水コマ』を使って使用量削減（図①）
- 蛇口を『シャワータイプ』に変更し使用量削減（図②）

図① 蛇口バルブを入れ替え流量を削減



図② 蛇口のシャワー化で 洗浄力 UP



放水範囲が広がり、洗浄力が向上

環境報告

生産活動における環境取り組み（3）

排出物削減に向けた社内体制

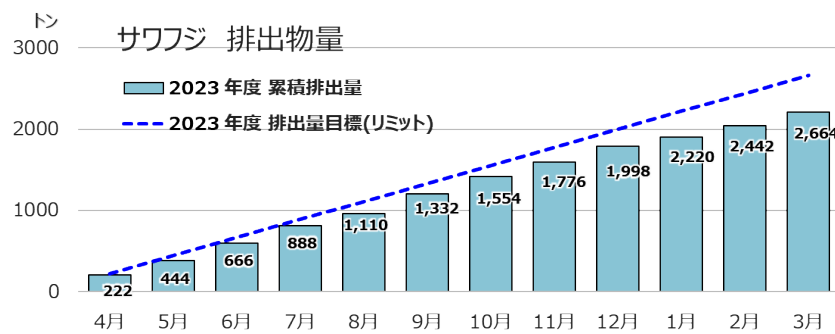
“排出物削減分科会”にて社内から排出される鉄、銅などの低減を推進しています。

主に生産部門では歩留まりを向上させ排出される物質質量低減を推進している他、生産技術部では治工具作成段階での排出ロス低減の取り組みを進めています。

また営業部でも返却された産業廃棄物の3R活動を推進し、スタータ等の製品について再生利用を進めています。

排出物削減に向けた取り組み

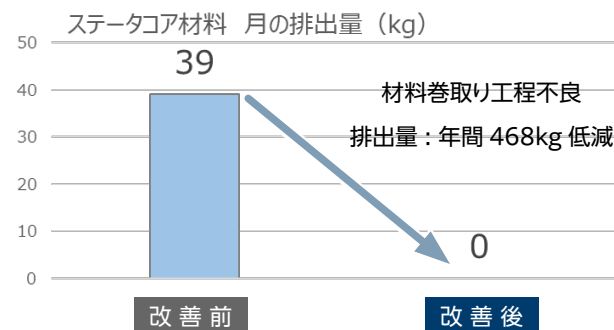
生産部門、生産技術部、営業部それぞれ方策を実施し、2023年度の全社目標を達成しました。



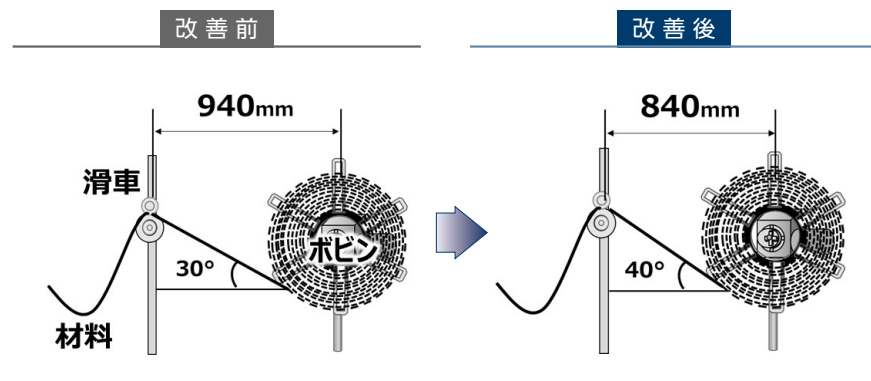
各部署での排出物低減取り組み

機械工場のプレス工程では、歩留まり向上とロス排出低減を推進しています。

2023年度オルタネータ構成部品である、ステータコア材料の歩留まり改善では、巻取り角度と高さのバランスを研究し、効果を上げています。



■ オルタネータステータコア プレス後の材料巻取り工程



物流活動における取り組み

澤藤電機は、関連会社の（株）エス・テー・エス、及び物流に関わる部署を中心に、物流におけるCO₂排出量を低減する活動に取り組んでいます。

（株）エス・テー・エスの取り組み

（株）エス・テー・エスは、澤藤電機における「仕入先様からの部品納入」と「得意先様への製品出荷」の一翼を担っています。エコドライブの推進や生産変動に応じた輸送の効率化等、澤藤グループの一員として、物流におけるCO₂削減に取り組んでいます。

■ エコドライブの推進

エコドライブ講習会への参加や日々の省エネ運転指導により、エコドライブを奨励しています。

2018年にデジタルタコメータを導入し、各車両の燃費データと急加速など運転状況を一元管理しています。その成果として、デジタルタコメータの評価点で多くのドライバーが満点に近い数値を維持しています。評価基準を上回ったドライバーには表彰制度を設けるなど、ドライバーにも環境にも優しい運行を目指しています。



（株）エス・テー・エスの大型トラック

■ 車両更新における取り組み

- 老朽車両の定期入れ替え
- 低排出車両の採用
- アルミホイールの採用（車両の軽量化）
- パーキングクーラー導入によるアイドリングストップの奨励

荷主としての取り組み

働き方改革関連法の施行により輸送能力が不足する「物流の2024年問題」が懸念されています。

澤藤電機では、2024年問題への対応を含め、輸送効率の向上を進めています。

■ 2024年問題への対応

- 荷待ち時間の削減
- 発注者からの受注受け入れ情報の迅速化
- 出荷に合わせた生産・荷造り
- 運転以外の作業の分担
- 荷役作業の短縮と効率化
- 運行に無理が生じない納品

■ 輸送効率向上の取り組み

- 混載便への変更による輸送効率向上（納入地/荷量を考慮）
- 梱包材削減の取り組み

ドライバー待機時間を大幅削減した事例

個装出荷
⇒ パレット出荷への変更

改善前 個装出荷

改善後 パレット出荷

梱包材削減の取り組み

改善前 外装箱 緩衝材① 緩衝材② 緩衝材③ ビニール 完成

改善後 外装箱 FSC認証商品 緩衝材1種(3枚) ビニール 完成

FSC認証:環境や社会に対して持続可能な森林管理のもと作られた製品を認証する制度です。

環境報告

環境活動における環境取り組み

敷地内の環境リスク一斉点検パトロール

敷地内の屋外貯蔵所、屋内貯蔵所、給油取扱所、一般取扱所、少量危険物貯蔵取扱所の規定数量以内、定期点検に記入漏れ、油の漏れ、保安監督者の記載など、周辺環境への影響を現地現物で確認するため、環境リスク一斉点検パトロールを行っています。問題となる前に、積極的な改善を進めています。

燃料貯蔵所パトロールの様子 (2024年6月11日)

耐久実験棟（少量危険物貯蔵取扱所）の様子



機械工場（屋内貯蔵所）の様子



材料倉庫（屋内貯蔵所）の様子

土壌・地下水への取り組み

澤藤電機は、モントリオール議定書によりオゾン層破壊物質の一つとされ、1996年に使用禁止となった有機塩素系化合物「1.1.1-トリクロロエタン」を使用していましたが、1995年に全廃し、以後、土壌・地下水の汚染状況調査を実施しています。

この調査により、現在では1.1.1-トリクロロエタンは検出されていませんが、その分解生成物で、水質汚濁物質や土壌汚染物質として環境基準値が定められている1.1-ジクロロエチレンが、敷地内の1箇所でも基準値を上回るレベルであることが確認され、1999年より土壌中のガスを吸引し活性炭による浄化対策を実施しています。

工場敷地外への影響については敷地境界に観測井戸を設置して継続的に監視しており、現在では基準値を大幅に下回っています。今後も継続的に監視をしていきます。



上流側汚染状況調査の様子



上流側汚染状況調査の様子



下流側汚染状況調査の様子

水資源の節減

■ 雨水の利用

澤藤電機は、水使用量削減のため、雨水の利用を継続しています。雨水をドラム缶を利用して作ったタンクに蓄えて、花壇や植木の水撒きに利用しています。



雨水をタンクに蓄え再利用



花壇や植木の水撒き

環境コミュニケーション活動

太田市産業環境フェスティバルへの参加

澤藤電機の環境活動を、より広く社会やステークホルダーの皆様に理解していただくために、太田市産業環境フェスティバルに参加しています。2023年度の環境フェスティバルでは、製品や環境取り組み事例などを展示。また、手回しで発電を体験できて大いに盛り上がり、地元住民の方から好評をいただきました。

地元自治体が主催する環境フェスティバル

澤藤電機の展示ブースの様子
(2023年11月12日)



工場周辺の環境リスクパトロール

樹木の張り出しや排水溝の詰まり、騒音など、周辺環境や近隣住民の皆様への影響を現地現物で確認するため、環境リスクパトロールを行っています。問題となる前に、積極的な改善を進めています。

敷地境界パトロールの様子 (2024年6月11日)



敷地境界南側の様子



敷地境界西側の様子



敷地境界北側の様子



敷地境界東側の様子

エコキャップ活動

2008年8月より、ペットボトルキャップを分別回収することにより再資源化を促進するとともに、売却益で世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。集められたキャップはリサイクル業者により、回収BOXなどに再生利用されています。キャップの焼却をしないことにより、CO₂の発生抑制にも寄与しています。

ペットボトルキャップ回収	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
キャップ回収量	kg	246	217	268	239	297
CO ₂ 削減量	kg -CO ₂	775	684	845	752	934
提供人数	人	122	108	134	119	148

エコドライブの啓発

澤藤電機は環境にやさしい安全な運転を心がける「エコドライブの推進活動」に取り組んでいます。毎年6月の環境月間に合わせ、「エコドライブ10のすすめ」のポスターを掲示し、社員への啓発活動を行っています。



エコドライブ普及連絡会策定「エコドライブ10のすすめ」



環境省
環境月間PR用画像

生物多様性

生物多様性の取り組み

■ 基本的な考え方

澤藤電機は、生物多様性について、その保全と持続可能な利用に貢献していくことが重要であると考え、地球温暖化防止、省資源にかかわる活動に加え、環境 NPO、地域住民と協力して地域社会における生態系の保全に取り組んでいます。

目 的	取り組み項目	具体的な事例
① 地球温暖化防止 生態系への環境影響抑制	工場の CO ₂ 抑制	設備の省エネ、節電対応など
② 水資源の抑制 生態系への環境影響抑制	工場の水使用量の抑制 使用水のリサイクル	浄化処理水の再利用など
③ 資源循環の推進	リサイクル材の使用拡大	成型樹脂、有機溶剤、洗浄剤などのリサイクル
④ 地域環境保全 地域の自然環境保全	地域 NPO へ協力して 地域環境の保全活動	新田環境みらいの会 (NPO) へ協力して、近隣の河川の水質調査、湧水地調査と保全活動

■ 地域 NPO との交流

澤藤電機が立地する太田市新田地域を中心に活動する NPO 法人新田環境みらいの会との交流を行い、地域の活動に参加しています。[地域の環境保全を図る活動][まちづくりの推進を図る活動] について協力し、地域環境との共生をめざしています。

懇談会

NPO 法人新田環境みらいの会の活動計画や、地域湧水地保護の取り組みなどについて情報交換をしました。

(2024 年 5 月 9 日)



西村 理事長、酒井 副理事長との情報交換会の様子

身近な水環境の全国一斉調査の参加

全国水環境マップ実行委員会が主催する水環境調査に参加しました。例年は、太田市立生品小学校の土曜スクールの生徒と一緒に行っていましたが、2024 年度は、感染症対策として、各団体で行うこととなりました。太田市の早川の水を採取した後、透明度の観察やパックテストによる水質調査を行いました。(2024 年 6 月 3 日)



早川の水を採取・水質調査

モニタリングサイト 1000 里地調査の参加

新田地域の湧水地の一つ、矢太神水源周辺の植物相調査に参加しました。沼の周辺に生育する草花を採取し、図鑑で種類を確認しました。この日は絶滅危惧種のコウホネ、ナガエミクリの繁殖を確認することができました。同様の調査は全国のサイト（調査地）で行われ、得られた情報は公益財団法人日本自然保護協会によって収集・解析され、里地の環境保全に役立てられます。

(2024 年 5 月 30 日)



コウホネ カルガモの親子



矢太神水源周辺の植物相調査

太田新田地域の湧水地について

太田市内には、国内有数の規模を誇る大間々扇状地に涵養された新田湧水群があり、自然界では生物に豊かな成長をもたらすとともに、古くから人々の生活や農業の発展に寄与してきました。しかし、戦後の開発による土地利用の変遷や地下水のくみ上げなどにより湧水量が減少し、また、管理や関心の薄れによる周辺環境の悪化が懸念され、生物多様性も損なわれつつあります。地元企業として NPO 法人との活動を通じ、地域環境への関心を深め、自分たちにできる活動を進めていきます。



水源での自噴の様子

環境パフォーマンスデータ (1)

環境データ

■ 大気（設備）規制値（大気測定数値）

2023 年度実績				
対象設備	項 目	単 位	規制値	測定数値
ボイラー（灯油）	NO _x	ppm	180 以下	74 以下
	SO _x	K 値	17.5 以下	0.1 未満
	ばいじん	g/m ³ N	0.1 以下	0.041 以下
コジェネレーションシステム (A 重油)	NO _x	ppm	950 以下	670 以下
	SO _x	K 値	17.5 以下	0.19 以下
	ばいじん	g/m ³ N	0.1 以下	0.022 以下

【K 値規制】

大気汚染防止法のばい煙発生施設から排出される硫黄酸化物の規制方法。大気汚染の程度によって全国を 16 段階の地域に分け、それぞれ係数（K 値）を決め、計算式により求められた許容量を超えるばい煙の排出を制限するものです。施設が集合して設置されている地域ほど規制が厳しく、その値も小さい。

$$Q = K \times 10^{-3} \times He^2$$

Q：許容排出量（SO₂ Nm³/h）
He：有効煙突高（m）

■ PRTR 対象化学物質排出量

2023 年度実績（単位：トン/ 年）								
物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル	除去	消費量
		大気	水域	廃棄物	公共下水道		除去処理量	
スチレン	11.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
キシレン	4.2	2.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	0.8
トルエン	3.2	1.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	1.4
エチルベンゼン	1.6	1.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2
1,2,4-トリメチルベンゼン	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4

■ 水質規制値（水質検査数値）

2023 年度実績				
項 目	単 位	規 制 値	最 大 値	最 小 値
pH	—	6.5 ～ 8.0	7.5	6.7
BOD	mg/L	10 以下	9.0	1.0
COD	mg/L	10 以下	6.2	2.2
SS	mg/L	15 以下	2.0	1.0
N・H 油分	mg/L	3 以下	1 未満	
フェノール	mg/L	0.2 以下	0.025 未満	
銅含有量	mg/L	1 以下	0.01 未満	
亜鉛含有量	mg/L	1 以下	0.12	0.05
溶解性鉄含有量	mg/L	4 以下	0.07	0.01
溶解性マンガン含有量	mg/L	5 以下	0.02 未満	
クロム含有量	mg/L	0.2 以下	0.01 未満	
フッ素化合物	mg/L	1.5 以下	1.0	0.2
全リン	mg/L	8 以下	1.6	0.57
全窒素	mg/L	60 以下	3.9	1.3
鉛含有量	mg/L	0.1 以下	0.01 未満	

※ PRTR 法に基づき、PRTR 対象化学物質の環境への排出量、廃棄物としての移動量を把握し、集計・公表しています。また、環境に配慮した調達活動を推進するために「グリーン調達ガイドライン」を作成し、仕入先様各社との協業により環境負荷物質の一層の低減を図ります。

- 取扱量 1 トン/ 年以上が対象（特定第 1 種指定化学物質は 500 kg/ 年以上）
- 除去処理量：焼却処理、分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

※ 工場内で使用した水は排水処理場で処理し、水質汚濁防止法・県条例および太田市との環境汚染防止協定の規制値をクリアし、浄化水を早川へ放流しています。放流水は、定期的に外部の委託業者にて各項目について水質検査をし、監視しております。今後も継続的に監視し、環境汚染防止に努めてまいります。

環 境 報 告

環境パフォーマンスデータ（2）

■ 温室効果ガス排出量

		範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Scope1		連結	t-CO ₂	—	1,514	1,601	1,653	1,632
Scope2（マーケット基準）※1		連結	t-CO ₂	5,660	5,014	5,445	3,672	590
Scope2（ロケーション基準）※2		連結	t-CO ₂	5,735	5,043	5,320	5,028	4,697
Scope3		澤藤電機	t-CO ₂	—	212,216	225,422	236,266	177,274
Category 1※3	購入した製品・サービス	澤藤電機	t-CO ₂	—	99,503	116,446	116,330	92,141
Category 2	資本財	澤藤電機	t-CO ₂	—	1,751	2,528	1,421	2,632
Category 3	燃料・エネルギー関連活動	澤藤電機	t-CO ₂	—	873	942	916	862
Category 4※4	上流の輸送・流通	澤藤電機	t-CO ₂	—	506	559	516	334
Category 5	事業から出る廃棄物	澤藤電機	t-CO ₂	—	404	319	337	309
Category 6	出張	澤藤電機	t-CO ₂	—	127	130	131	127
Category 7	従業員の通勤	澤藤電機	t-CO ₂	—	1,857	1,934	1,923	1,879
Category 8	上流のリース資産	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—
Category 9※4	下流の輸送・流通	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—
Category10	販売した製品の加工	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—
Category11※5	販売した製品の使用	澤藤電機	t-CO ₂	—	107,014	102,392	114,534	78,853
Category12	販売した製品の廃棄	澤藤電機	t-CO ₂	—	181	172	159	137
Category13	下流のリース資産	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—
Category14	フランチャイズ	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—
Category15	投資	澤藤電機	t-CO ₂	—	—	—	—	—

【算定方法／注釈】

環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」 「排出量算定に関するガイドライン」に沿って算定
国内の排出係数は、環境省「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を使用
海外の排出係数は、国際エネルギー機関（IEA）が発行する「IEA Emissions Factors 2019」の国別係数を使用

※ 1 購入電気の契約内容を反映

※ 2 特定のロケーションにおける平均的な排出係数を使用

※ 3 購入金額ベース、及び仕入先様からの 1 次データを使用

※ 4 Category4・9 は合算して Category4 に計上

※ 5 グローバルで販売した発電機／冷蔵庫を対象として、販売数と標準的な使用シナリオに基づく各仕様での使用時エネルギー消費量に排出原単位を乗じて算定

環境パフォーマンスデータ（3）

■ 排出物等総排出量

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
排出物等総排出量	澤藤電機	kg	3,031	2,871	2,969	2,716	2,206

■ 水資源の総排出量

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
水資源の総排出量	澤藤電機	m ³	47,812	48,731	58,234	47,214	43,581

■ 化学物質の総排出量

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
PRTR 対象化学物質の排出量	澤藤電機	kg	16,200	15,038	18,326	12,346	7,287

■ 物流における CO₂ 排出量（STS）

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
物流における CO ₂ 排出量低減数値	澤藤電機	t-CO ₂	360	340	354	343	203

■ 地球温暖化防止（CO₂ 排出量）原単位数値

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
CO ₂ 排出量（原単位数値）	澤藤電機	kg -CO ₂ / 百万円	250	276	269	201	66

※ 生産出来高 100 万円あたりの CO₂ 排出量

■ 排出物等 原単位数値

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
排出物等（原単位数値）	澤藤電機	kg/ 百万円	154	173	152	151	138

※ 生産出来高 100 万円あたりの排出物量

■ 水資源の節減 原単位数値

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
水資源（原単位数値）	澤藤電機	m ³ / 百万円	2.43	2.93	3.18	2.63	2.72

※ 生産出来高 100 万円あたりの水使用量

■ 化学物質の管理 原単位数値

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
PRTR 対象化学物質の排出量（原単位数値）	澤藤電機	kg/ 百万円	0.82	0.91	1.00	0.69	0.45

※ 生産出来高 100 万円あたりの排出量

■ 物流における CO₂ 排出量 原単位数値

	範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
物流における CO ₂ 排出量（原単位数値）	澤藤電機	kg -CO ₂ / 百万円	21.6	23.8	22.7	22.4	15.3

※ 生産出来高 100 万円あたりの CO₂ 排出量

社会性報告

お客様とともに (1)

お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応えた製品・サービスなどの提供に努めています。

製品開発

澤藤電機の開発部門は持続可能な社会に貢献するために、電動化技術を主力商品とした開発体制の強化を行い、お客様のニーズに応えた付加価値をもった製品の開発にチャレンジし続けています。

開発の「やり直し」を防止するため MBD (モデルベース開発) を導入して開発スピードの向上を図っています。

■ MBD の導入

2023 年度より一部実際の開発に適用を開始しました。MBD 推進のため、3 つの取り組みを実施していきます。

① MBD の浸透を図る

MBD 活用の成功体験を共有していきます。

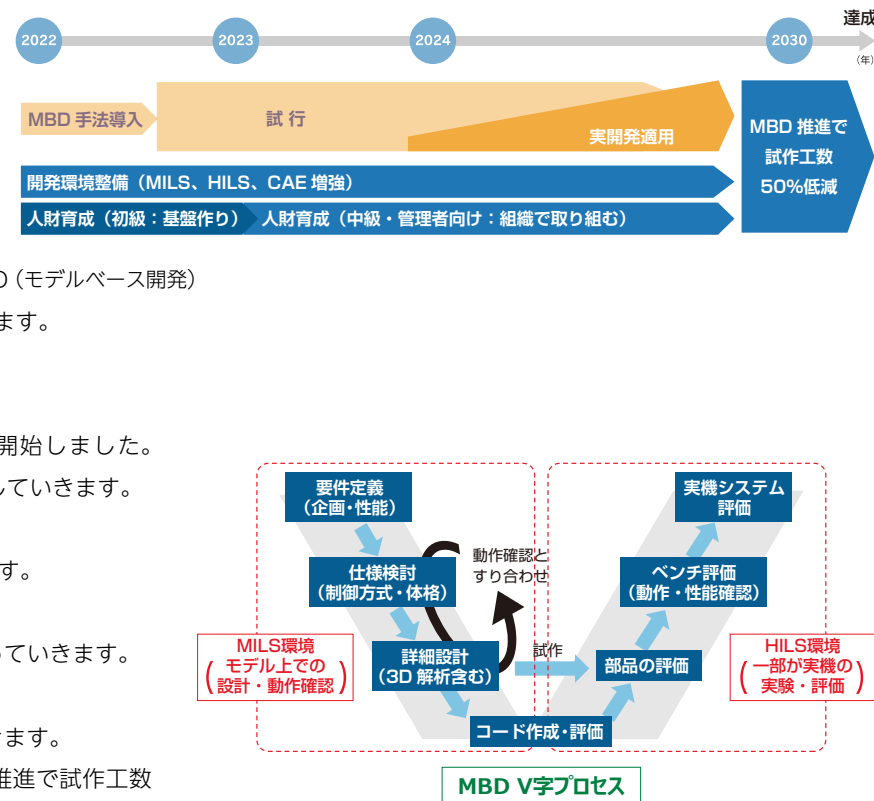
② 人材育成

教育を継続することにより底上げを図っていきます。

③ 開発環境整備

MILS、HILS、CAE の増強を図っていきます。

上記の結果として 2030 年には MBD 推進で試作工数 50%低減を目標に定めています。



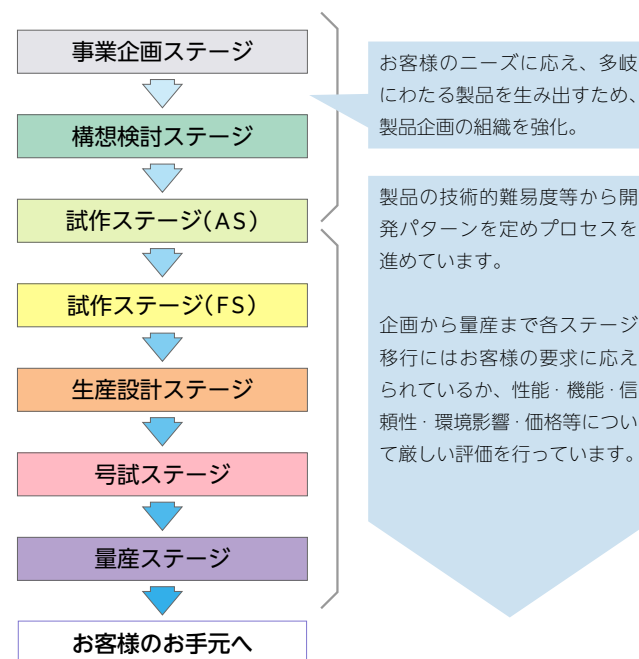
開発プロセス

お客様のニーズによる多岐にわたる製品の開発とそのスピード感に応えるため、開発プロセスの更なるブラッシュアップを図っていきます。

お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応える製品開発に取り組んでまいります。



開発プロセス打ち合わせの様子



お客様とともに (2)

モノづくり

澤藤電機は、お客様に感動を提供できるモノづくりをめざして、日々挑戦しています。

その基本は『お客様の満足度向上』の考え方のもとに、モノづくりに必要な経営資源を有効に活用することで、社会への貢献、環境との共生に努めています。

具体的には、「必要なものを、必要なときに、必要なだけ提供できる生産の仕組みづくり」や「異常で止まるラインづくり」、さらに「徹底したムダの排除による原価低減」などの改革、改善を推し進めています。

また、「SAWAFUJI WAY」に掲げて行動原則に基づき、「コミュニケーション」を深め「チームワーク」を向上、「チャレンジ」と「ネバーギブアップ」で課題達成に努めています。「小集団活動」「自工程完結活動」「新入社員改善事例報告会」「安全・品質向上活動」「生産ロス低減大部屋活動」などの諸活動を展開し、働きやすい職場づくりと活性化で ES 向上を実現させています。



EV モータ組立ライン



自工程完結改善事例報告会

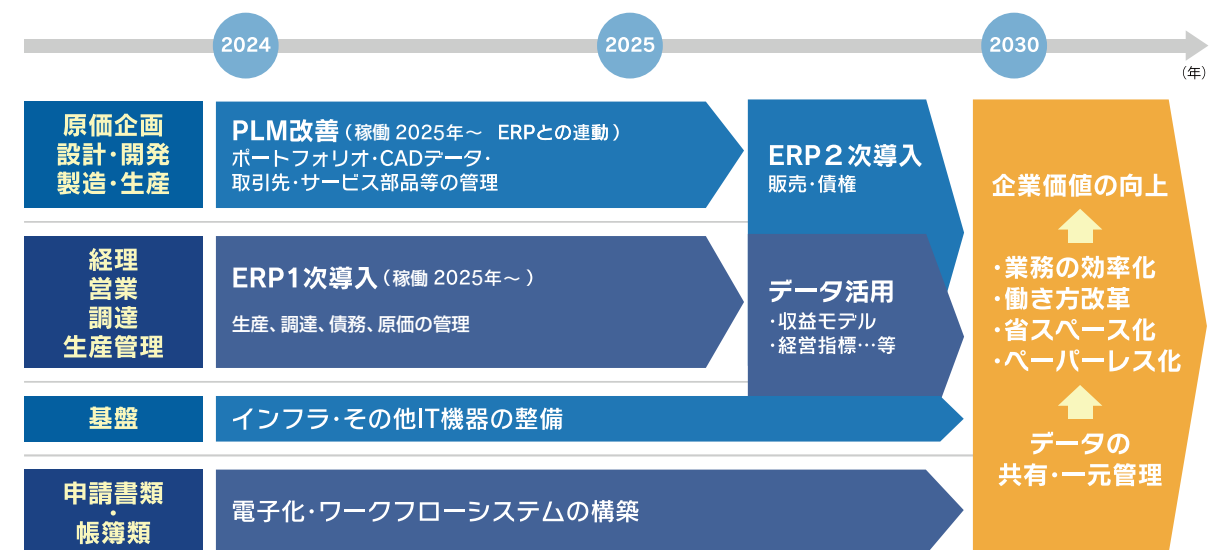


新入社員改善事例報告会

データ共有と一元管理

澤藤電機では、様々な部門やプロセス間での円滑な情報共有を目的として、ERP と PLM を両輪に据え、IT 基盤システムの活用を推進しています。データの共有と一元管理による企業全体の効率化や生産性の向上、収益モデルや経営指標を正確に把握することによる適切な意思決定を行うためのデータ活用など、お客様のニーズにスピーディーにお応えできるシステムづくりを推進し、持続可能な成長と企業価値向上を目指します。

基盤の整備 ➡ 企業価値向上



ERP (Enterprise Resources Planning) : 統合基幹業務システム

PLM (Product Lifecycle Management) : 製品ライフサイクル管理システム

社会性報告

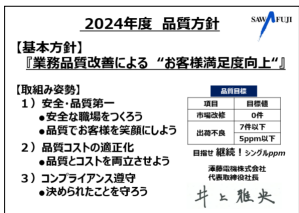
お客様とともに (3)

品質保証の取り組み

■ 基本的な考え方

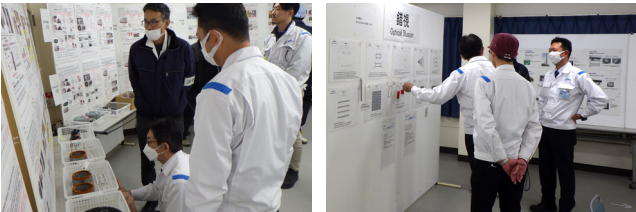
澤藤電機は、品質保証体制を確立し、お客様に満足していただける商品を、安全・安心に提供するために日々取り組んでいます。

品質改善活動を展開するにあたり、「業務品質改善による、お客様満足度向上」を基本とした品質方針を、携帯しやすい名刺サイズのサステナブルカードに盛り込みました。全従業員に配布し、品質意識高揚を図っています。



■ 品質パネル展示会開催

品質情報を全社員が共有することを目的として、全社員参加による品質パネル展示会を開催しています。「失敗を会社の財産にしよう!」を合言葉に、不具合事例とその再発防止策を展示し、全社員が自分の仕事の進め方に活用できる場としています。



品質パネル展示会場の様子



担当者からのコメント 来場者から『実物を見る展示会はわかりやすくて良い』などの率直な意見をいただきました。今後の品質の維持・向上に活用していきます。

サービス体制と質の向上

■ 製品不具合への対応

澤藤電機は万一、製品に不具合が発生した場合、全国に8社10拠点ある代理店、226社ある特約店で構成されるサービスネットワークにて、速やかに対応する体制を整えています。また、海外向けの冷蔵庫・発電機についても同様に対応しています。

製品に関するお問い合わせ件数

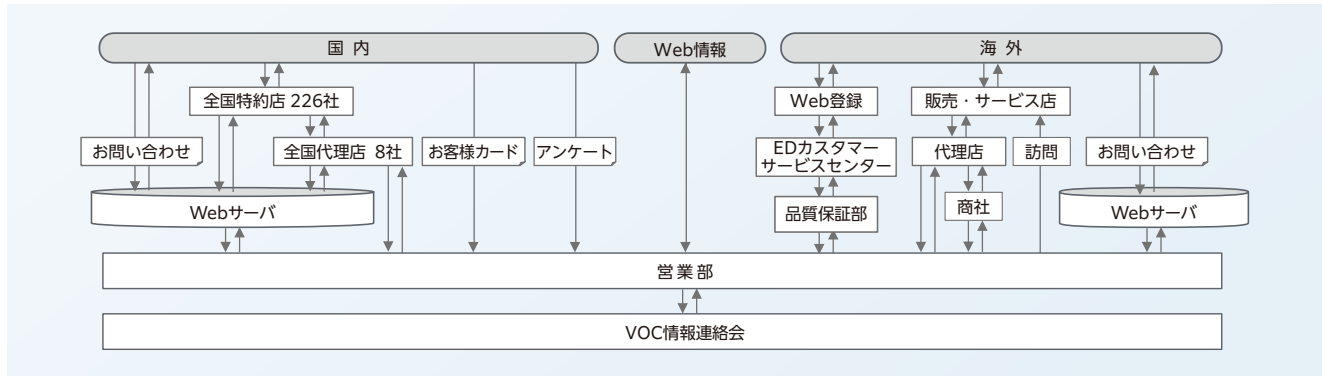
(単位:件)

製 品	2021年度		2022年度		2023年度	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
電装品	72	44	70	35	77	38
冷蔵庫	224	55	177	48	142	46
発電機	58	218	50	170	54	161
市販品	1	—	2	—	—	—
その他	594	48	727	44	918	46
計	949	365	1,026	297	1,191	291

■ お客様の声を生かす社内体制

お客様から寄せられる要望や意見を集約して製品・サービスに反映するとともに、各国拠点および全国代理店・特約店様を通じてのクレーム処理や技術情報などについても、迅速・適切な対応ができる体制を整えています。Webからの「お問い合わせ」や、製品に添付している「お客様カード」、展示会でのアンケートなどから、お客様がより満足できる製品となるよう、営業・サービス・開発・品質保証などの関係部門が、VOC(お客様の声)情報連絡会を通して改善を行っています。

また、お客様の個人の権利・利益を保護し、ご提供いただいた情報を適法かつ適正に取り扱うために、規程類を整備し、プライバシーポリシーを公表するなどの取り組みを行っています。



地域社会とともに (1)

社会への参画と環境への配慮の側面から、地域社会・国際社会に貢献します。

社会貢献活動の考え方

- CSRの観点から広く社会に貢献する
- 地域との良好な関係を維持し、共生を図る
- 地域の一員として、住民とのコミュニケーションを深め、地域に役立つ活動をする

推進体制

社会活動推進分科会の事務局を総務部におき、「社会貢献活動」の考え方にに基づく計画立案・推進活動を行っています。

社会貢献活動

■ 地域イベントへの参加

澤藤電機は、地域の皆様との交流を深めるため、地元太田市の近隣地区で開催されている花火大会やお祭りなどに協賛しています。

また、自社製品の特色を生かした地域貢献として、地域のイベントへ自社製品(発電機・冷蔵庫)の貸し出しを行い、ご好評をいただいています。近隣のお祭りや太田市主催のイベントへ発電機・冷蔵庫を貸し出すことも可能です。



2023年度会場内への電力供給の様子
(ELEMAX SH2500EX)

■ 日本赤十字社への献血協力

社員による献血活動として、1976年から赤十字血液センターに協力をしており、現在に至る48年間で献血者数は延べ6,629名となりました。

年 度	2021	2022	2023
献血者数(名)	87	105	83



献血車内での献血の様子

■ 地域美化活動

近隣の日野自動車株式会社新田工場様の工長会と合同で、工場周辺および近くにある早川公園の清掃を年2回行っています。2022年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数での活動でしたが、2023年度は、第5類となったことで以前同様、多くの方々に参加していただき活動を行いました。



工場周辺及び早川公園
清掃の様子



社 会 性 報 告

地域社会とともに（2）

■ 群馬クレインサンダーズ後援会入会

澤藤電機は、男子プロバスケットボールリーグを戦う「群馬クレインサンダーズ」の 2022－23 シーズン後援会企業会員に入会しました。（2024 年 7 月時点で 785 社が入会）

2023－24 シーズンは 31 勝でクラブ史上最高順位の東地区 4 位となり、観客来場者数も平均 5,244 人、合計で 157,331 人でリーグ 3 位を記録しています。後援会会員として今後も応援していきます。

群馬クレインサンダーズ後援会について

2021 年に、国内男子プロバスケットボールチームの「群馬クレインサンダーズ」のホームタウンが太田市になりました。太田市近郊の団体や企業が一体となって応援し、バスケットボールが野球、サッカーに続く第 3 のプロスポーツとして盛り上がることを願い設立されました。

2022－23 シーズン群馬クレインサンダーズ後援会会員
※ 公式 HP にて社名が紹介されています



群馬クレインサンダーズ
マスコット サンダくん

■ 交通安全ボランティア

2011 年より交通事故防止・撲滅に向け、会社付近の交差点で街頭監視の活動を実施しています。ドライバー、通行者に対して交通安全への意識づけを図っています。



交差点での
街頭監視活動

■ 福祉施設 ボランティア活動

日野自動車株式会社新田工場様の工長会と合同で、近隣の福祉施設の環境整備のボランティア活動を行っています。

窓ガラスの清掃や植栽の剪定などのお手伝いを通じて、利用者の方々とのコミュニケーションを図っています。

2022 年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数での活動でしたが、2023 年度は、第 5 類となったことで以前同様、多くの方々に参加していただき活動を行いました。

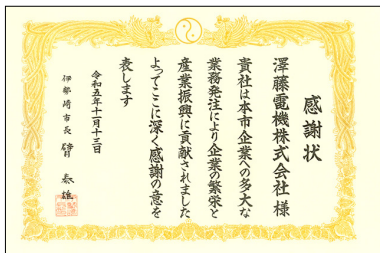


窓ガラス清掃と剪定作業の様子



■ 地域産業への貢献

地域産業に貢献していることが評価され、伊勢崎市より産業振興貢献企業表彰をいただきました。今回で、15 度目の受賞となります。



伊勢崎市
産業振興貢献企業
感謝状

■ 関連団体への参加

事業活動に関連する団体に会員として積極的に参加し、情報の共有化を図っております。

一般社団法人 群馬県経営者協会
一般財団法人 地域産学官連携ものづくり研究機構
一般社団法人 日本経済団体連合会
一般社団法人 日本自動車部品工業会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本陸用内燃機関協会 など （五十音順）

株主・投資家様とともに

長期安定的な成長を通じ、企業価値の向上をめざします。

企業価値向上について

澤藤電機は、株主重視・顧客満足・社会貢献を実現するために、コンプライアンス、製品の安全、環境保全、安全・防災活動を含むリスク管理の徹底、内部統制体制の充実、企業倫理の向上、優秀な人財の確保と教育強化、社会貢献活動および適時適切な情報開示などに努め、企業価値向上を図っています。

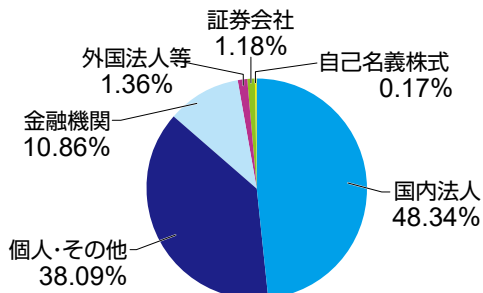
IR 情報について

澤藤電機は、株主や投資家の皆様に対し、事業活動の内容を適時適切に開示することにより、当社に対する正しい理解を深めていただくことが重要であると考えております。

IR (Investor Relations) 活動の一環として、決算発表時に公表している資料とは別に、当社の活動について幅広くご理解いただけるように、当社の環境活動や新製品などのトピックスを掲載した株主通信を株主様にご送付させていただいております。

最新の決算短信、株主総会参考資料、IR カレンダー、サステナビリティ報告書（CSR 報告書）は当社ホームページ「IR 情報」 「CSR」 のページに掲載しております。

所有者別株式分布状況（2024 年 3 月 31 日現在）



大株主 [上位 10 位]（2024 年 3 月 31 日現在）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日野自動車株式会社	1,307	30.29
株式会社デンソー	400	9.27
本田技研工業株式会社	260	6.03
澤藤電機従業員持株会	153	3.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	125	2.91
株式会社三井住友銀行	120	2.78
株式会社三菱UFJ銀行	80	1.85
三井住友信託銀行株式会社	60	1.39
三井住友海上火災保険株式会社	40	0.93
柴田 弘子 様	36	0.85

代理店・特約店様とともに

信頼関係を築き、相互の発展・向上をめざします。

代理店・特約店様との協力

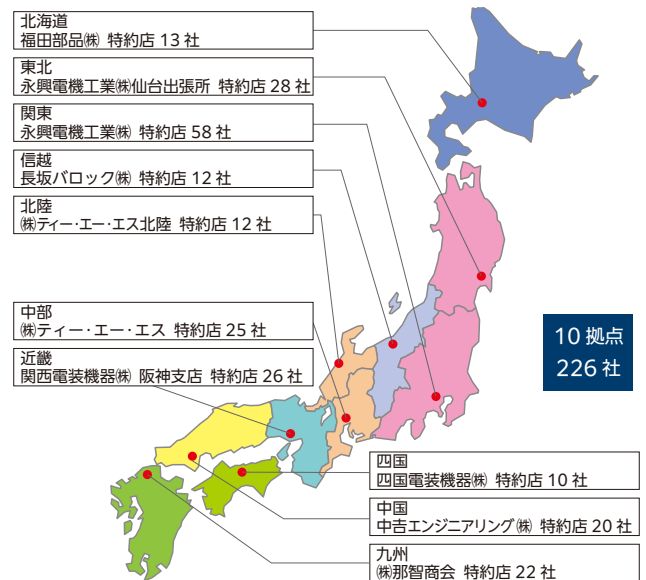
澤藤電機は、代理店・特約店様のネットワークを活用して、市販品、パーツ販売、市場情報収集、サービス体制構築などを行い、あらゆるシーンで代理店・特約店様とともに社会的な責任を全うするよう努めています。

コミュニケーション

2023 年度は、全国 10 拠点で会議を開催し、方針説明やコミュニケーション強化に努めました。

また、代理店・特約店様のサービス力強化のために、講習会なども開催しました。

澤藤サービスネットワーク（2024 年 4 月 1 日現在）



仕入先様とともに（1）

公正性と透明性を確保し、信頼関係のもと相互の発展・向上をめざします。

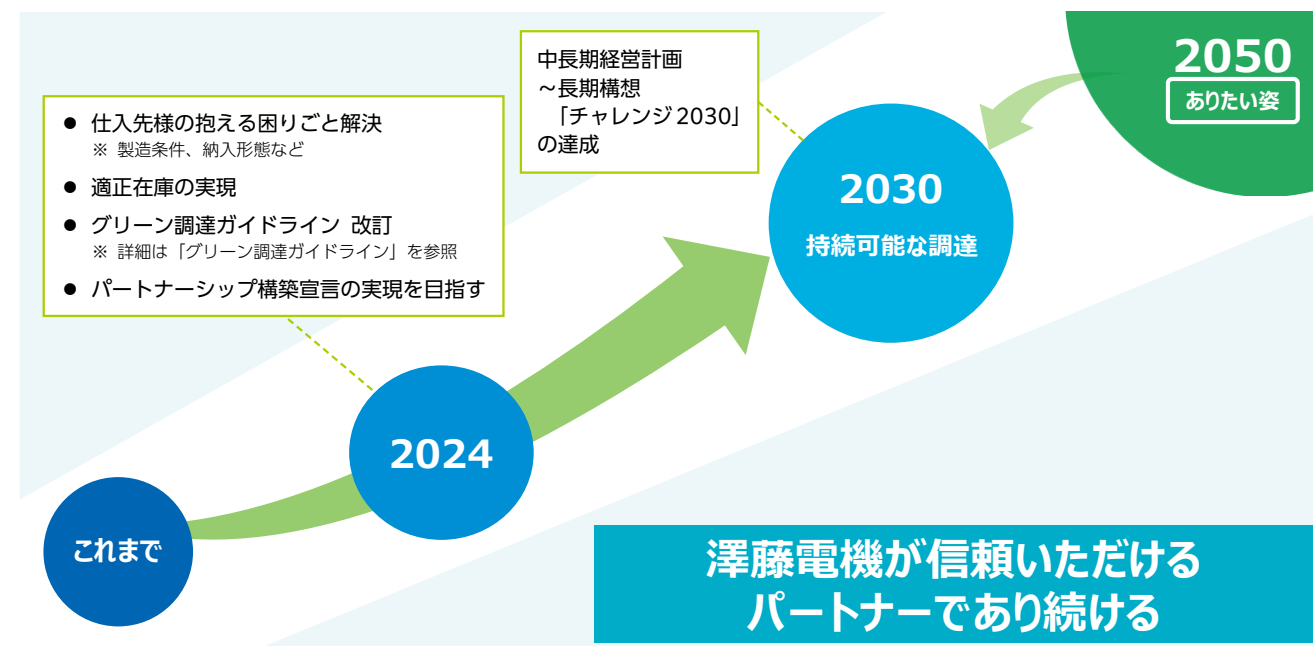
調達の基本理念

澤藤電機は、取引のプロセスにおいてフェアであることを徹底し、最適な物品の調達を実行しています。そのために「相互信頼、共存共栄」を基本理念に信頼関係を築き、相互の発展・成長をめざしています。

調達の基本方針

- 私たちは
環境保全と環境負荷低減に努め、
市場ニーズに応える QCD（品質・コスト・供給）を追求します。
- 私たちは
国内外の諸法規を遵守し、
企業倫理に基づいた公正な取引を行い、
調達活動を通じて得た情報は厳格に管理します。
- 私たちは
すべての仕入先様・協力会社様に対して公平に窓口を開放し、
仕入先様・協力会社様との相互発展・信頼の構築に努めます。

取り組み内容



仕入先様とともに（2）

コンプライアンス遵守（適正取引）

■ 基本的な考え方

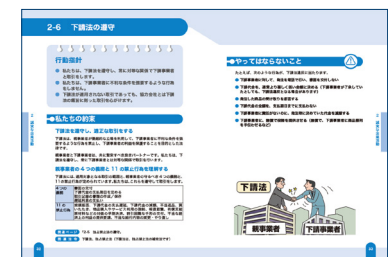
社会から信頼共感されるための調達基盤は、各国、地域の規格を遵守し、調達活動としては高い倫理観をもって公正・誠実に行動することと考えています。取引の透明性・公平性を高め、より信頼しあえる関係を築くことを目的として「仕入先様ホットライン」を設置しています。全てのビジネスパートナーが利用可能な通報窓口となります。また、各国、地域の規格の遵守はもちろん、調達部が公正・誠実に行動をするため、コンプライアンスハンドブックを活用し、適正取引の徹底に努めています。



仕入先様
ホットライン
外部通報窓口

■ 具体的な取り組み

- 各国の法令・条約の遵守
- 仕入先様ホットライン設置
- コンプライアンスハンドブックの活用
- 適正取引に向けた明示的な協議の推進および交渉記録の保存（業務のDX化）



コンプライアンスハンドブック
(独占禁止法、下請法等を網羅)
2024年4月発行

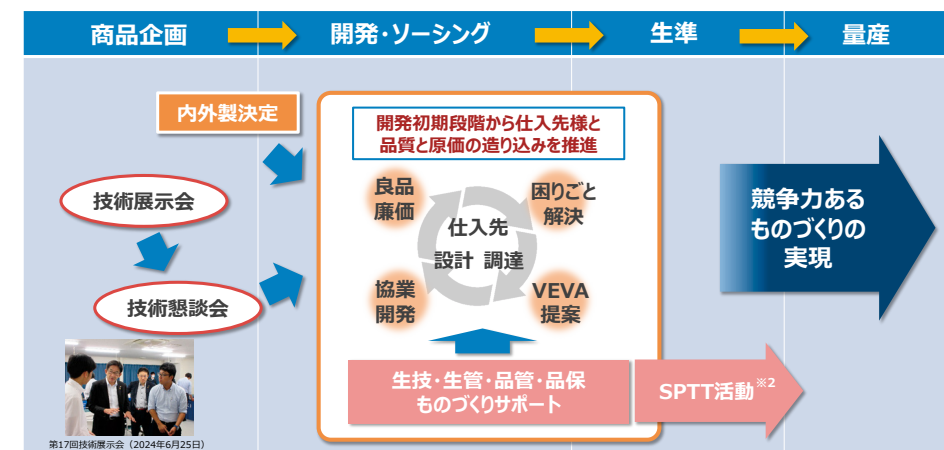
仕入先様と一体となった競争力あるものづくりをめざす

■ 基本的な考え方

お取引先様にご満足いただける性能や信頼性・耐久性などの品質の確保とコスト低減に努めるため、開発初期段階より仕入先様とともに品質・原価の造り込みを推進します。併せて、「仕入先様が抱える製造条件や納入形態などの困りごとを解決」し、環境に配慮したものづくりをめざします。また定期的に仕入先様と技術展示会・懇談会を実施、次世代の製品を支える原材料や生産技術を反映したたゆまぬ改善を行うことで、より一層の競争力強化に取り組んでいきます。

■ 具体的な取り組み

- 仕入先様を訪問し、現地現物で VA^{※1} 提案活動による原価の造り込み
- 小ロット多品種の強みを活かした最適なものづくり
- 仕入先様との技術展示会・懇談会により、電動システム製品および既存製品の技術力強化（下図）を推進



※1 VA
Value Analysis の略語で価値分析を指す。
製品やサービスのコストを削減しながら顧客に提供する価値を最大化するための戦略的アプローチ。

※2 SPTT 活動
Supplier Parts Tracking Team の略語。仕入先様へチームを派遣して、量産部品の生産準備を支援する活動。

持続可能な調達

■ 基本的な考え方

- グリーン調達ガイドライン
澤藤電機の中長期経営計画～長期構想「チャレンジ 2030」の策定に合わせ、「グリーン調達ガイドライン」を改訂しました。調達方針を明示し、環境マネジメントシステムの運用・構築、温室効果ガス排出量の削減に加え、人権尊重、適正な労働条件の徹底を仕入先様に共感、協力をしていただき、持続可能な調達の実現をめざします。

- 災害時初動マニュアル
人命を第一に考慮した「災害時初動マニュアル」では、従業員の安否確認、自然災害等で被災した仕入先様の支援、休日に自然災害等が発生した際の緊急対応をマニュアル化することで、災害に強い安定調達の実現をめざします。

■ 具体的な取り組み

- 環境マネジメントシステムの運用と継続
- 人権尊重・適正労働条件の徹底
- 自然災害等による被災仕入先様の支援
- 災害時初動マニュアルの改訂による減災対応

仕入先様とのコミュニケーション

■ 調達方針説明会

仕入先様各社との連携強化を目的に、調達方針説明会を開催しています。調達方針説明会では、調達方針の説明と、最重要課題である品質向上・原価改善についてご協力をお願いしています。さらに、前年度の生産活動にご貢献いただいた仕入先様への感謝の言葉を伝えています。仕入先様に会場へお越しいただく形で開催し、多くの仕入先様にご参加いただきました。

■ 澤藤電機協力会 秋季研修会

仕入先様との相互研鑽を目的に、秋季研修会を開催しています。秋季研修会では、社長による当社の近況説明や講師をお迎えしての講演会を行っています。2023 年度は仕入先様に会場へお越しいただき開催。講演会では黒川伊保子様を講師に迎え、「人生に効く脳科学～脳が創り出す男女のミゾ、人生の波～」と題してご講演いただきました。

■ 澤藤電機協力会 工場見学会

澤藤電機協力会会員会社の異業種交流を目的に、工場見学会と懇親会を実施しています。

2023 年度は 46 社の協力会会員様とパナソニックエコテクノロジーセンター様を訪問し、リサイクルの取り組み等のご説明をいただきました。

■ 品質支援活動（仕入先様）

仕入先様の品質安定化と品質向上を目的として、品質管理部が、仕入先様とともに品質向上活動に取り組んでいます。2023 年度も多くの仕入先様に参加していただき Web での連絡会を開催しました。仕入先様の品質支援と未然防止活動および不具合事例の情報展開を実施し、着実に品質向上の成果を上げています。



グリーン調達ガイドライン 改訂
2024 年 5 月 発行



災害時初動マニュアル 改訂
2024 年 発行



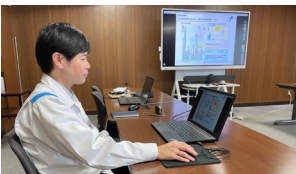
調達方針説明会 (2024年3月26日)



秋季研修会 (2023 年 11 月 29 日)



工場見学会 (2023 年 9 月 22 日)



仕入先様情報連絡会
(2024 年 4 月 24 日)

社員とともに（1）

社員一人ひとりの人格・個性を尊重し、職場の安全、社員の健康を守り、快適な職場環境を確保します。

快適職場の推進

働きやすい職場環境づくりは生産性・能率向上、社員モチベーション向上のために重要な活動であり、労使で取り組んでいます。2008 年度には、厚生労働大臣より快適職場推進企業に認定されました。認定後も、さらなる向上をめざして活動を行っています。



澤藤電機は、法令で定められた安全衛生基準を満たすだけでなく、さらに良好な職場環境をめざして、自主的な計画に基づいて職場環境の改善に取り組んでいます。その一環として定期的な巡視と点検の徹底により安全化を図り、快適職場づくりへの積極的な取り組みにより、安心して働ける職場をめざしています。

人事に関する基本的な考え方

澤藤電機は、経営理念の中に社員への貢献を織り込んでいるほか、企業の社会的責任の観点より、「① 人財育成」「② 働きがい、モチベーション向上」について取り組んでいます。

人財育成については、OJT やマネジメント教育による管理能力強化およびコア人財の育成（キャリアパス、若手拔擢）を、また働きがい、モチベーション向上については、人事評価制度、異動希望制度、表彰制度などの運用を行い、明るい職場づくり、コミュニケーションの向上に取り組んでいます。

雇 用

■ 基本的な考え方

澤藤電機は安定した雇用のもとに、人財育成を重点に取り組んでいます。働きがいを感じる職場づくりと個人の成長をめざして、階層別、職能別、品質管理、環境・安全、自己啓発の 5 つのジャンルで人財育成に取り組んでいます。

■ 雇用の状況

直接部門、間接部門とも、大幅な雇用の変動はありませんでした。その中で、日々、業務効率化を遂行しています。

なお、働き方については、法令遵守を基本とし、正社員、有期雇用者ごとの就業規則を定め、労使委員会でチェック・フォローをしています。派遣社員については、厚生労働省の指針をふまえ、業務内容や契約期間などについて、当社と派遣会社で確認しながら適正な管理を行っています。

労使関係

■ 基本的な考え方

澤藤電機は社是に掲げた「労使協調相互信頼により明るい職場を樹立しよう」に則り、平和的労使関係を確立するために、労働組合と労働協約を締結し信義をもって遵守しています。

■ 労使協議

労働組合との円滑な労働協約の遵守を図るため、労使協議の場として労使協議会をはじめ、経営懇談会などの会議を定期的に開催して改善に努めています。各種労使委員会に加え労使による対話の場を設け、全員がイキイキと働くことができるよう進めていきます。

正社員の構成、平均年齢、平均勤続年数（各年度 3 月 31 日時点）

		2021年度		2022年度		2023年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
社員構成 (名)	一 般	476	103	480	104	473	102
	管理者	147	3	138	4	144	5
平 均 年 齢		41歳7カ月	37歳1カ月	39歳2カ月	36歳9カ月	41歳8カ月	37歳6カ月
平 均 勤 続 年 数		18年5カ月	14年1カ月	18年7カ月	14年4カ月	18年9カ月	14年9カ月

澤藤電機の在籍者数(出向者除く)

有期雇用者、派遣社員の推移

(各年度 3 月 31 日時点)

年 度	2021	2022	2023
有期雇用者(名)	185	170	135
派 遣 社 員(名)	75	89	49



労使協議会の様子

人権尊重

■ 基本的な考え方

澤藤電機は、社員の人格・個性を尊重し、働きがいを感じる職場環境を実現するために制度を整備して実践しています。具体的には、「企業倫理綱領」の人権の尊重とあらゆる差別的取り扱いの禁止に関する条項に従い、社員の人権を尊重した、差別のない健全な職場環境を確保しています。

■ 教育・啓発

コンプライアンスガイドブックに基づき、人権も含めて法令などの社会的規範、社会的良識などについて、全社員への教育・啓発を部門ごとに毎年2回実施しております。

また、内部通報制度として「企業倫理ヘルプライン」を設けて、法令違反や「企業倫理綱領」の違反行為の未然防止に努めています。

人財育成

■ 基本的な考え方

澤藤電機は、人財の育成を柱として組織の活性化を図ることを目標に、社員一人ひとりの自主性と創造性を大切にしながら、それが企業の発展に活かされるように能力開発の充実を図っています。

■ 教育・啓発

社員一人ひとりが持ち場・立場での能力を発揮できるように、毎年、各階層別、職能別の教育計画をつくり、新入社員教育、中堅社員研修、新任管理監督者研修、管理者候補を対象としたマネジメント研修、役員を交えた管理者、管理者候補を対象とした研修を実施しています。

また、各社員の自己啓発を促すために、各種通信教育、資格取得支援、講習会・セミナーなどの教育も実施しています。

従業員満足度調査

2017年度から従業員満足度調査を行い、調査結果をふまえた課題設定と施策を実施し、従業員の働きがいの向上をめざしています。調査結果により自社の強み弱みを客観的に把握することで、さらなる従業員満足度の向上・働きがいのある職場づくりに努めています。

■ 体育館リニューアル

従業員満足度の向上により、一人ひとりが職場での働きがい、過ごしやすさを、より一層高められるよう、さまざまな施策を実施しております。

従業員アンケートの要望をもとに、体育館のエントランス・トイレ・シャワールーム・更衣室のリニューアルを実施し、明るく快適な場所へ生まれ変わりました。今後も、よりよい職場環境を実現するために取り組んでまいります。



シャワールーム・更衣室のリニューアル

多様性への取り組み

■ 基本的な考え方

澤藤電機は、性別、年齢、国籍など多様な属性や価値・発想を大切にし、多様な人財が活躍できるようにすることが、社員、企業の成長につながると考え、取り組んでいます。

■ 再雇用制度・障がい者雇用の促進

社員の高齢化が進み若年労働者が急速に減少する中で、働く意欲を有する高年齢者の知識、技能、経験を最大限に活かす場を提供するとともに、次世代への知識、技術、技能の継承を図ることを目的として、定年退職者の再雇用制度を導入しています。

また、障がい者雇用については、2023年度の当社の障がい者雇用率は2.1%となっています。

新卒採用活動、中途採用活動を実施し、生産現場でも障がいを持つ方が活躍しています。障がいを持つ方が安心して働ける職場環境整備を通じて、誰でも働ける職場づくりをめざしています。

■ ワーク・ライフ・バランス支援の諸制度

社員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を可能とする働き方を支援するために諸制度を整備し、社員の支援をしています。

- フレックスタイム勤務制度
自立的、効率的な働き方を支援するために、社員が計画的に始業、終業の時刻を決めることができる勤務制度です。

- 育児休業制度・育児短時間制度
育児を支援するために、一定の期間内、育児のための休業および所定内労働時間の短縮ができる制度です。

- 介護休業制度
介護の必要な家族のいる社員が、家族の介護負担軽減のために、一定の期間内休業できる制度です。

- ボランティア休業制度
国、地方公共団体などの社会福祉機関において、社員が社会奉仕活動をする場合に一定の期間内休業ができ、その活動を支援する制度です。

再雇用実績

年度	2021	2022	2023
再雇用者数(名)	12	14	8
再雇用率(%)	92.3	93.3	80.0

障がい者雇用実績

年度	2021	2022	2023
雇用率(%)	2.7	2.2	2.1

育児支援制度の適用実績

年度	2021	2022	2023
育児休業制度(名)	7	8	11
育児短時間制度(名)	12	14	12

安全・衛生委員長コメント

澤藤電機では「安全は全ての業務に優先する」を合言葉に、労働災害、交通事故、火災「ゼロ」に向けて全員参加で活動しています。

安全衛生委員は組合側 32 名、会社側 32 名で毎月委員会を開催し報告、議論の場を設けております。

全ての従業員が安全で安心して働ける職場を目指し、管理監督者は労働災害を未然に防ぐため、現場の声に耳をかたむけその要望を実現するための対話型巡視活動の導入、危険予知訓練により安全意識を高めることで不安全行動を防止する活動、さらに職場巡視により不安全状態の早期発見につながる仕組みや環境を構築しています。

澤藤電機労働衛生基本理念

＊安全は全ての業務に優先する＊
安全なくして企業の発展なし
ルールを守らずして安全なし
プロとしての自覚なくして安全なし



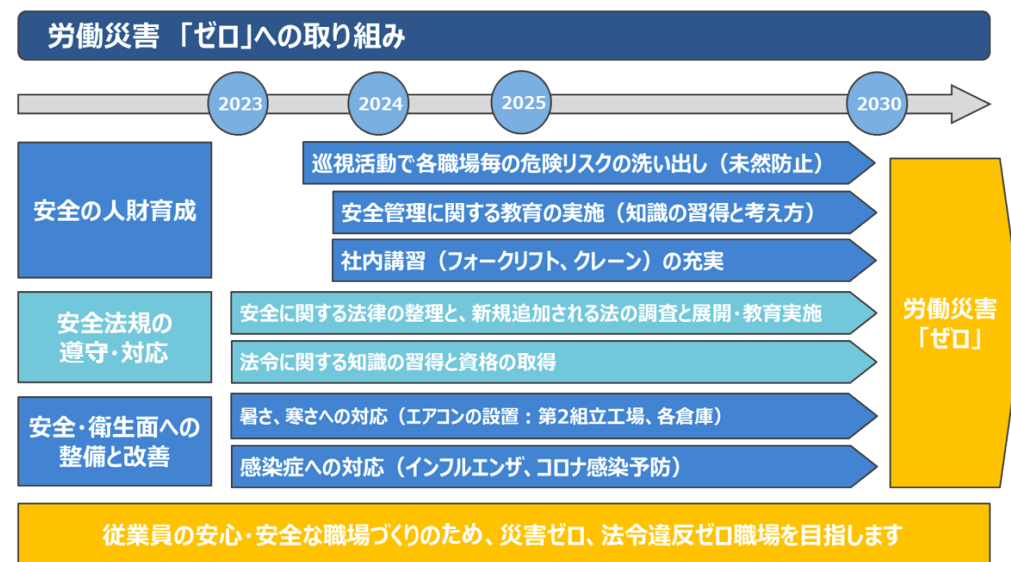
安全衛生委員長
執行役員

尾花 浩之

安全・衛生ロードマップ

2023 年度より澤藤電機の過去災害からデータを分析し、どのような災害が多く発生しているのかを層別して、不安全状態、不安全行動をなくす活動を推進してきました。

安全の人財育成・法の遵守・職場衛生面の整備と 3 本柱で推進し、労働災害ゼロ職場を目指して活動してまいります。



交通安全

交通安全講習会

例年、従業員を対象とし、所轄警察署の講師による交通安全講習会を実施しています。2021 年度・2022 年度は新型コロナウイルス感染防止として職場単位の教育を実施しましたが、2023 年度は食堂に集まっていただき開催いたしました。事故にあわない起こさないよう、交通ルールを守り事故のない会社生活を送れるよう、意識付け活動を継続的に取り組んでいます。

交通安全講習会 受講実績

年度	2021	2022	2023
受講者数(名)	—	—	200
受講率(%)	—	—	100.0

正社員・有期雇用者・子会社出向社員含む



交通安全講習会（2023 年度の様子）

運転適性検査の実施

毎年、運転シミュレータのキャラバンカーを県警察本部より派遣していただき、従業員に運転適性検査を行ってもらっています。運転シミュレータを使用して、「認知や反応」等の身体能力について検査を実施し、その結果で自身の運転時の注意点を把握するとともに、自分の運転の仕方を再確認してもらい安全運転の意識を高める活動をしています。また、結果を事務局で集計・分析し年代別等の特性などを把握して、今後の交通安全活動に生かしています。

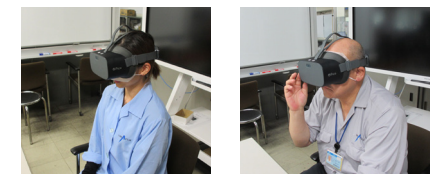


運転シミュレータ

安全重点活動

●【安全教育用 VR（バーチャルリアリティ）機器導入】

澤藤電機では前例のなかった VR（バーチャルリアリティ）機器を導入し、新しい安全教育のかたちを構築。説明を聞くだけの受動的な教育ではなく、体感型の能動的な教育で従業員の更なる安全意識の向上に寄与。



安全教育用 VR（バーチャルリアリティ）機器の体験の様子

●【人車分離】荷役作業場の整備

フォークリフトと作業者の接触事故を未然に防ぐために、フォークリフト作業と人が同じ場所で同時に作業をしないためのルールづくりに取り組みました。また、月に 1 回の巡視を実施し、ルールの遵守状況の確認や、危険箇所の撲滅のための取り組みを実施しています。



荷役作業場の
巡視の様子

●【安全巡視】対話型巡視活動の導入

自職場から災害を出さないために、管理者が巡視をしながら作業者と対話をし、コミュニケーションを取りながら改善に取り組む活動を取り入れました。



対話型巡視活動
の様子

●【重量物の取り扱い】ルールの整備と教育

重量物による災害は重大な災害につながる可能性が高いことから、法的免許の他に、社内教育を受けた作業者のみが操作できる「使用許可制度」を新たに設けました。

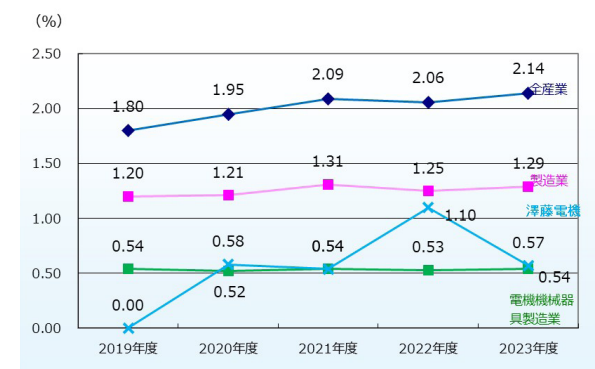


重量物の取り扱いの
教育の様子

労働災害度数率

2023 年度における労働災害度数率（休業）はグラフの通りでした。発生させてしまった災害に対しては不安全状態、不安全行動、管理的要素に分け要因を追求して対策を行い、『災害は出さない』を合言葉に活動しています。

$$\text{休業度数率} = \frac{\text{休業災害件数}}{\text{延べ労働時間}} \times 100 \text{ 万}$$



社員の健康管理

■ 多面的な健康管理の支援

澤藤電機は、社員一人ひとりの健康を第一に考え、全社で健康に配慮した取り組みを行っています。

● 健康管理

社員の健康管理のため、法令に基づく健康診断を国内子会社も含め実施しています。また、人間ドック、がん検診などの健康管理も支援しています。

健康診断の結果、従来より実施している産業医の保健指導に加え、健康保険組合から派遣される管理栄養士による特定保健指導を実施しています。特定保健指導の対象となった人は、各自目標を設定して生活習慣の改善に取り組んでいます。

また、社員食堂においては、委託会社の管理栄養士と当社看護師が献立表についての打ち合わせを実施し、栄養バランスを考慮した通常メニューに加え、おいしくてカロリー減のヘルシーメニューも毎日提供しています。

● 過重労働の抑制

澤藤電機では、健康確保のため、管理監督者を含む全ての社員を対象に労働時間の見える化を推進しており、厚生労働省の基準超過が認められる場合は、産業医による保健指導等の健康管理措置を講じています。また、労働時間の適正化について管理者への徹底を図るとともに、社員の健康管理措置の実施状況を経営層に報告し、情報を共有し、対策を講じることで、過重労働の抑制に努めております。

● 疾病予防の取り組み

疾病予防の取り組みとして、社内報に各種がん検診についてのアドバイスや、ストレス解消法の紹介、歯周病チェックなどを連続で掲載し、啓発に努めています。また、医務室では看護師による相談受付や、自動血圧計を設置していつでも血圧測定ができるようにしています。

● 職場の分煙化

社員の健康管理のため、受動喫煙防止対策として分煙化の推進を行っています。事務棟・食堂に加え、工場内についても終日全面禁煙とし、建屋外に喫煙場所を設置し分煙化を実施しています。

● メンタルヘルス研修

メンタルヘルスケア指針に基づいて、2023年度は合計16回に分けてメンタルヘルス研修を全従業員向けに開催しました。全従業員向けでの開催は、2018年度以来5年振りでした。2023年度は、一般社団法人日本産業カウンセラー協会の山口佳子先生をお迎えし、「職場のハラスメント」について2時間にわたって研修を行いました。前半は先生による講義、後半はグループワークを実施しました。グループワークでは、職場のハラスメントに関する事例検討を行い、従業員は活発な意見を交わしました。

メンタルヘルス研修
(2023年度の様子)

● 暑気対策の取り組み

暑気対策の一環として、社員への啓発および熱中症予防策の周知を図るために、スポーツドリンクメーカーの講師による熱中症予防対策セミナーを実施しました。セミナーには43名が出席し、暑熱順化（カラダが暑さに慣れる）の重要性や効率的な水分補給方法、熱中症の予防方法、食事と熱中症との関係、発症時の応急処置等を中心にお話しいただきました。また、夏季限定の対策として生産スタッフへスポーツドリンクの配布、スポーツドリンクの購入価格を一部会社負担するなどを

熱中症予防対策セミナー
(2023年度の様子)

健康診断受診実績

年度	2021	2022	2023
受診者数(名)	913	890	885
受診率(%)	100.0	100.0	100.0

(出向者を除く)

受講実績

年度	2021	2022	2023
受講者数(名)	—	—	923



受講実績

年度	2021	2022	2023
受講者数(名)	—	—	43



ステークホルダーとの対話

澤藤電機では、お客様、地域社会、株主・投資家様、代理店・特約店様、仕入先様、社員などさまざまなステークホルダーとの対話を重ね、より良いパートナーシップを築いていきます。

定時株主総会開催

株主総会では、事業の状況、報告事業等について会社側から株主様に丁寧な説明がなされ、次いで決議事項の審議がなされました。会社が提出した全議案について、採決の結果、原案通り承認可決され、閉会いたしました。

地域住民との対話

地域社会と会社との関係を良好に保ち、かつ会社に対する理解を深めていただくために、近隣の地区役員の方々と情報交換会を定期的を実施し、近隣からのご要望、ご意見に対して迅速に対応できるよう連携をとっています。



地区役員の方々と
情報交換会

※ 新型コロナウイルス感染
拡大防止のため、状況に
応じ開催可否を判断しな
がら実施いたしました

福祉施設の皆様との交流

地域社会の社会貢献活動の一環として、会社と労働組合が合同で近隣の福祉施設6カ所をクリスマス訪問いたしました。社員からのカンパ金でクリスマスケーキとお菓子のプレゼントをお渡ししてきました。新型コロナウイルスが第5類になったことで、福祉施設の皆さんと歌を歌ったり、直接お話しすることができました。施設の方は澤藤サンタを毎年楽しみにしてくださっているとのことで、訪問を大変喜んでいただけました。



福祉施設の皆様との交流会 (2023年12月6日)

第7回 サワフジ小集団活動 改善事例全社大会

各ブロック（技能ブロックを除く）から選抜された優秀事例6サークルの発表を行い、最優秀サークルを決定しました。開会挨拶では、社長より『澤藤電機が目指していることは、会社で働く皆が、豊かで幸せな生活を実現することである。QCサークル活動を通じて、真剣に考え・改善し・解決する、ということがその第一歩である』とのお言葉をいただきました。また総評では、推進委員長より「自信を持って声も大きく元気よく発表されており大変良かった」というお言葉の後、1サークルずつコメントをいただきました。澤藤電機はこの小集団活動を通じ、改善意識を高め、ムダ・ムラ・ムリをなくすサステナブル経営を今後も続けます。



会場風景



集合写真
(前列左から3人目：社長、4人目：推進委員長)

企業価値向上、業務効率化工場へのロードマップ

従業員は澤藤電機にとって最大の資産です。従業員の幸せが企業価値を高める重要な要素と考えております。
社員一人ひとりが心身ともに健康で安心してチャレンジできる、能力を発揮できることで、
従業員と澤藤電機がともに成長する環境と風土作りに取り組んでおります。

成長への意志・意欲のある人財の能力を高めるために、積極的に人財に投資していきます。
次の3つを軸に人財能力開発を行っています。

1. 健康の重視

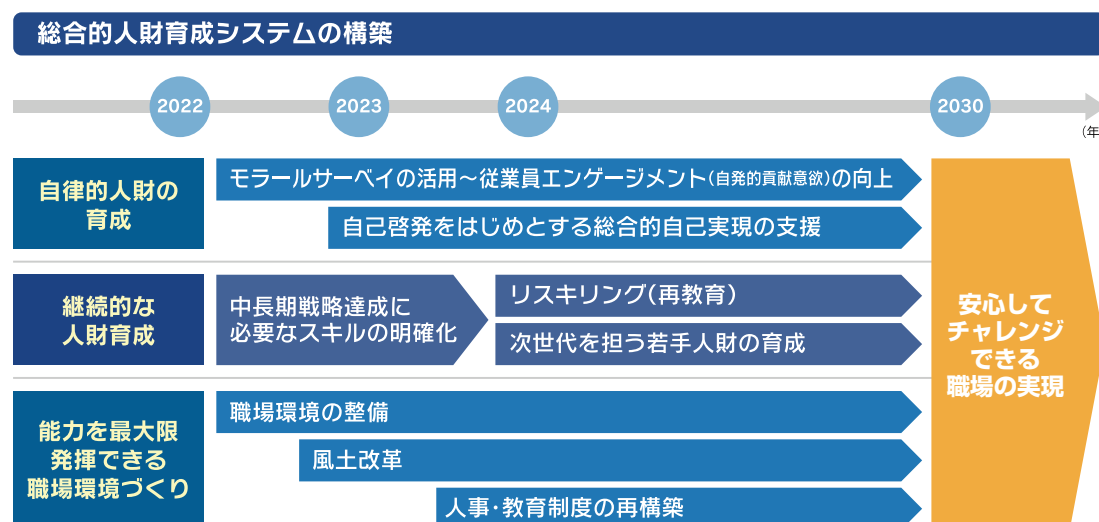
従業員の心身の健康をサポートし、エンゲージメントを高めるために積極的な取り組みを行っています。

2. 能力開花の促進

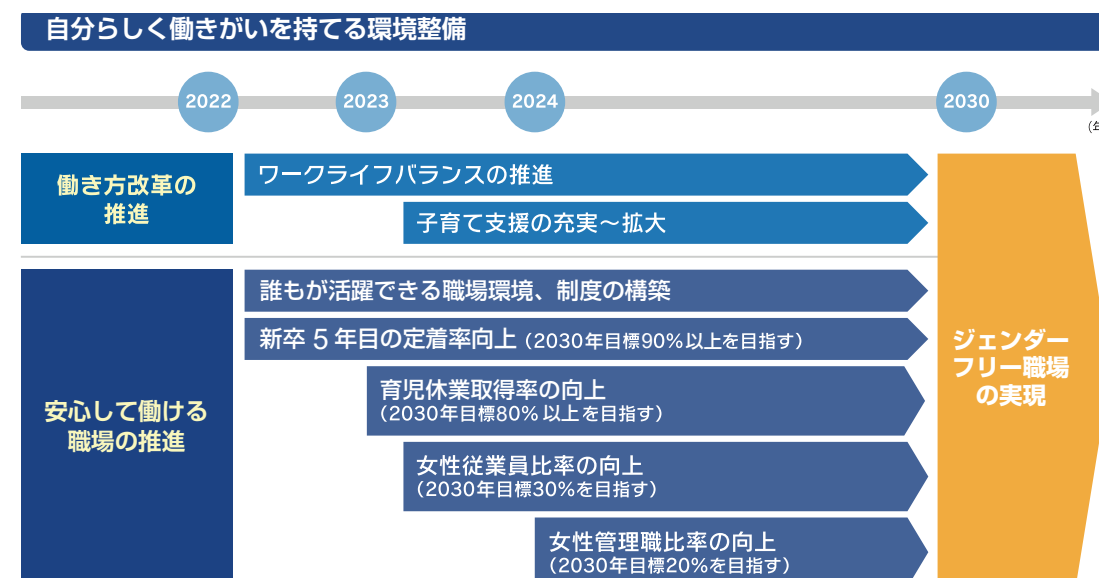
各従業員の能力を最大限に引き出すため、総合的人財育成システムを構築していきます。

3. とともに成長する環境の構築

従業員との信頼・協力関係を作り、従業員と会社がともに成長できる風土を作っています。



多様性を認め合い、すべての従業員が働きがいを持ち、働きやすさを感じられる環境を構築することを目指していきます。



食堂リニューアル



出入口を自動ドア化



手洗い場を設置(温水機能追加)



テーブルの入れ替え

4月OPEN



南側の部屋を3部屋化



西側に「おひとり様席」を設置



担当者からのコメント

食事をとってリフレッシュする憩いの場になってもらいたいという思いで、食堂のリニューアルをいたしました。



駐車場リニューアル

2023年10月から開始した一期工事(第一駐車場、第二駐車場、旧グラウンドの3か所)が完了し、4月15日(月)から全面利用が可能となりました。今回のリニューアル工事では、従業員の皆さんがより使いやすくなるように1台あたりの駐車スペースや道幅を拡大いたしました。

また、全面利用開始に先立ち、一期工事が無事完了できた感謝の気持ちと今後の安全を祈るため、竣工式を執り行いました。引き続き、二期工事(第三駐車場、事務棟周囲他)を実施いたします。



総務部 齊藤 樹



担当者からのコメント

構内交通事故をなくしたいという思いで、駐車場のリニューアルを推進しております。引き続き、安心・安全で働きやすい環境改善に努めます。



竣工式の様子



リニューアル前



リニューアル後

社会パフォーマンスデータ（1）

有期雇用者、派遣社員の推移

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
有期雇用者	名	187	196	185	170	135
派遣社員	名	44	57	75	89	49

再雇用実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
再雇用者数	名	21	20	12	14	8
再雇用率	%	80.7	83.3	92.3	93.3	80

障がい者雇用実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
雇用率	%	2.2	2.6	2.7	2.2	2.1

交通安全講習会受講実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
受講者数	名	892	999	—	—	200
受講率	%	88.8	99.5	—	—	100.0

健康診断受診実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
受診者数	名	880	875	913	890	885
受診率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

メンタルヘルス受講実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
受講者数	名	109	—	—	—	923

熱中症予防対策セミナー受講実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
受講者数	名	133	—	—	—	43

日本赤十字社への献血協力

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
献血者数	名	99	81	87	105	83

※ 集計数値は、各年度 3 月 31 日時点に基づく

社会パフォーマンスデータ（2）

正社員の構成、平均年齢、平均勤続年数

項目		単位	2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
社員構成	一般	名	486	95	477	97	476	103	480	104	473	102
	管理者	名	134	1	139	1	147	3	138	4	144	5
平均年齢		歳・月	42歳3ヵ月	38歳9ヵ月	41歳8ヵ月	37歳1ヵ月	41歳7ヵ月	37歳1ヵ月	39歳2ヵ月	36歳9ヵ月	41歳8ヵ月	37歳6ヵ月
平均勤続年数		年・月	19年7ヵ月	16年8ヵ月	18年6ヵ月	14年4ヵ月	18年5ヵ月	14年1ヵ月	18年7ヵ月	14年4ヵ月	18年9ヵ月	14年9ヵ月

女性従業員比率

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
女性従業員比率	%	15.4	15.9	17.0	17.4	17.0

女性管理職比率

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
女性管理職比率	%	0.7	0.7	2.0	2.8	3.4

新卒 5 年目の定着率

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
新卒 5 年目の定着率	%	92.4	96.0	97.0	88.3	85.0

育児休業取得率

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
男性育児休業取得率	%	0.0	6.3	42.8	41.7	35.7
女性育児休業取得率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
育児休業取得率	%	21.0	63.0	50.0	53.3	61.1

育児支援制度の適用実績

項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
育児休業制度	名	6	5	7	8	11
育児短時間制度	名	11	12	12	14	12

※ 集計数値は、各年度 3 月 31 日時点に基づく

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

澤藤電機を取り巻くステークホルダーの方々の立場を尊重したコーポレート・ガバナンスの構築

基本的な考え方

澤藤電機は、経営の透明性の向上と法令遵守の経営スタンスが、企業の価値を高めることにつながるものと位置付け、コーポレート・ガバナンスの充実を図りながら、経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築しています。

また、全社員の行動指針を明確にした「企業倫理綱領」の徹底に努めています。

主な機関の役割

■ 取締役会

経営の意思決定や業務執行機能などにおける役割と責任を明確にするとともに、急速な経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる体制を構築しています。そのため、取締役の任期についても1年として、経営陣の経営責任を明確にしております。2024年株主総会後は、社外取締役3名を含む取締役8名の体制をとっています。

取締役会は、定例的に開催しており、経営の基本方針、法令で定められた事項、ならびに経営に関する重要事項について審議・決議しています。

経営の監査機能

澤藤電機は、監査役設置会社であり、社外監査役2名を含む、監査役3名体制で取締役等の職務執行の適法性、経営意思決定の合理性、内部統制システムの構築と運用状況等を主眼に子会社も含めて監査を行っています。

また、監査の質の向上、効率化を図るため、監査役と内部監査部との連携を強化し、双方で監査方針、計画を開示するとともに、監査情報、意見等の交換を適宜実施しています。

さらに、監査役は監視だけではなく、企業価値の向上を使命と考えて、取締役等との定期会合、経営会議等で積極的に報告、助言、勧告等を行っています。

内部統制システムの整備および運用状況

澤藤電機は、2006年5月に「内部統制システムの整備に関する基本方針について」を決定し、その後、社会の要請に応じ適宜見直しを行い、公表しております。その方針に基づき、内部統制・コンプラ・リスク管理委員会で内部統制システムの整備・強化を図っております。

当社の業務の適正確保体制とその運用状況の概要につきましては、コーポレート・ガバナンス報告書「IV 内部統制システム等に関する事項」をご覧ください。

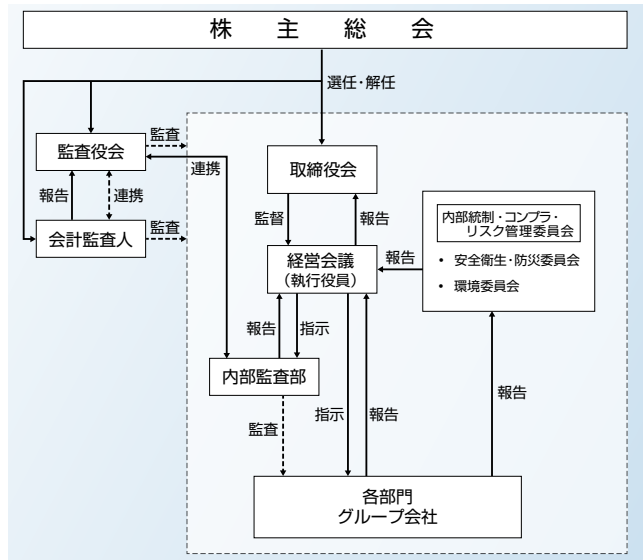
■ 経営会議

各取締役がそれぞれの機能の業務執行につき報告し、相互の業務執行につき協議し機動的な経営判断を行うことと互いの業務執行を監視監査することを目的に、経営会議を定例的に開催しています。

■ 機能会議等

専門的な事項に関し、組織横断的に協議決定などを行うことのできる体制を構築するために、機能会議などの会議体を設けています。

コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

法令などの社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動

基本方針・倫理綱領

澤藤電機は、法令その他の社会的規範を遵守するとともに、公正で健全な企業活動を行うために、企業倫理綱領を2002年4月に制定いたしました。コンプライアンスの徹底を図るため2024年4月には、コンプライアンスハンドブックをリニューアルし発行しました。

澤藤電機企業倫理綱領

URL: <https://www.sawafuji.co.jp/jp/company/vision/>

教育・啓発

澤藤電機では、子会社を含めた全社員を対象に、年2回のコンプライアンス教育を実施しています。

また、新卒・中途入社時や管理職昇格時にも、各階層に応じた教育を実施しています。

さらに、毎月2回の「コンプライアンス便り」と毎月1回の「コンプラ通信」の発行、および「コンプライアンス強化月間」における啓発活動を通じて、コンプライアンスの徹底と意識の向上を図っています。これらの取り組みにより、相談しやすい環境が整い、職場の風通しが良くなりました。

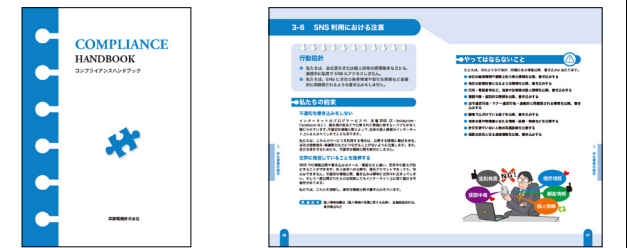
企業倫理ヘルプライン・ハラスメント外部相談窓口の設置

法令、もしくは企業倫理綱領に違反する行為や違反する恐れがある行為について、関係者からの通報や相談を受ける制度として、企業倫理ヘルプラインを設置して、違法行為・反社会的行為の監視と未然防止に取り組んでいます。

また、公益通報者保護法に則り関係情報、個人情報の保護を行うとともに、通報者や相談者が不利益を受けないようにしています。従業員が気軽に相談できる窓口として2023年8月よりハラスメント外部相談窓口を設置しました。

コンプライアンスハンドブック

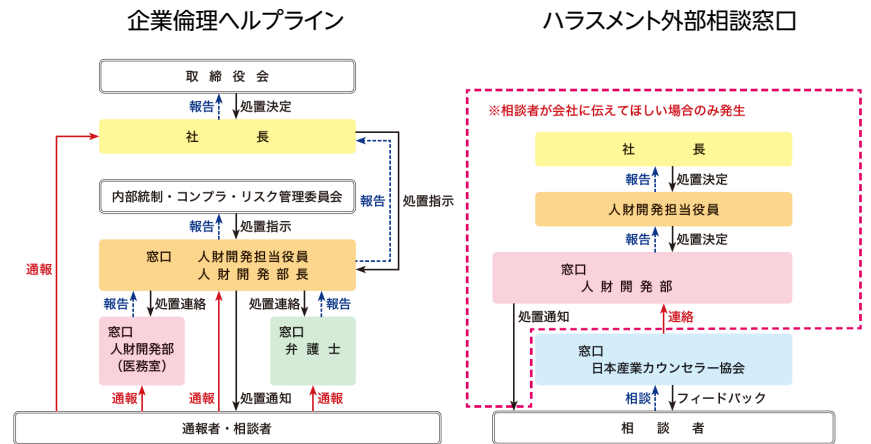
2008年に発行したコンプライアンスハンドブックを2024年4月に、大幅にリニューアルし、全社員に配布しました。今回のハンドブックでは、最新の傾向を反映した新たな項目（SDGs、各種ハラスメント、SNS等）を多数追加しました。また、企業倫理ヘルプライン、ハラスメント外部相談窓口も記載されています。



2024年4月新入社員教育の様子です。一方的な講義方式ではなく自ら考えジブンゴトとして捉えてもらえるようにディスカッション形式を基本としています。



毎月発行されるコンプライアンス便りは、社会の話題にできる限り合わせた内容を分かりやすい4コマ漫画を入れて配信しています。



情報セキュリティ

企業機密、個人情報に関する適正な管理運営

基本的な考え方

澤藤電機は、会社経営の安全を確保するために機密管理に関する事項を規程に定め、分科会を設けて、適正な管理および推進を行っています。個人情報についても、個人の権利・利益を保護するために、適法かつ適正な取り扱いを確保しています。

基本指針

情報資産を保護する指針として、機密管理規程を制定し、次の内容を定めています。
また、規程および情報セキュリティ対策の定期的な評価、見直しを行い、情報セキュリティの継続的な改善を図ります。

機密管理規程の内容

- 組織・体制の明確化
- 情報の分類と管理方法の明確化
- 運用管理の徹底
- 事故発生時の対応、再発防止

体制と活動

機密管理を徹底するための推進部署である、総務部・IT推進部・開発管理部および社内関連部、各部より選出のIT委員とともに、ITを含む総合的な機密管理の推進を行っています。

全国サイバーセキュリティ月間では、社内セキュリティパトロールを実施し、機密管理状況の点検とセキュリティ意識の向上を図っています。

ITセキュリティ対策

■ 従業員のサイバーセキュリティ意識向上を推進しています

澤藤電機では、定期的に「セキュリティブログ」を配信し、従業員のサイバーセキュリティ意識を高めています。さらに、「IT理解度チェック」と「迷惑メール訓練」、「セキュリティパトロール」を通じて、従業員がセキュリティリスクに対する理解を深め、悪意ある攻撃に対する警戒心を養います。これらの取り組みは、持続可能なビジネス運営と情報セキュリティ強化に貢献しています。

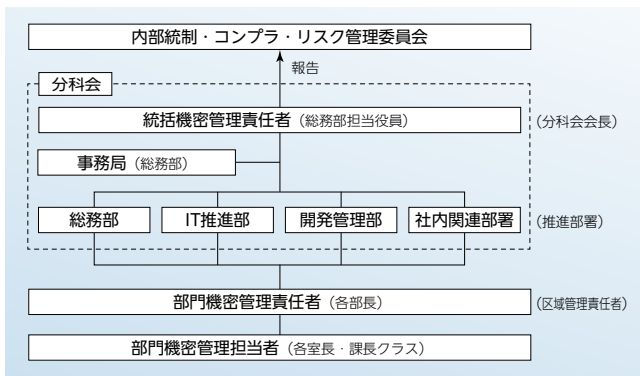
IT理解度チェック



教育研修

全社員を対象としたコンプライアンス教育の中で、機密管理に関する教育を実施しています。特にパソコン使用者に対し、社内ポータルサイトを活用し、セキュリティ、法律などに関する情報を逐次発信、「ITに関する理解度テスト」を実施し、継続的に啓発活動を行っています。

機密管理体制



リスク管理(1)

社員の安全、経営資源の保全

基本的な考え方

澤藤電機は、日常の事業活動ならびに自然災害・事故などの災害に伴う人的、物的、その他の経営資源の損失低減を図っています。

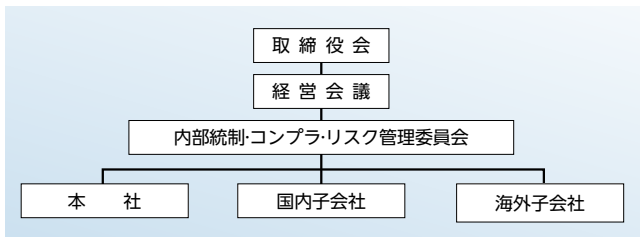
全社のリスクについて重要リスクの抽出とリスクの低減対策をまとめて、内部統制・コンプラ・リスク管理委員会において審議およびその対応を行っています。

また、緊急事態においても速やかな対策、復旧をするための緊急事態管理体制を整備し、「緊急事態発生時の連絡ルート」や緊急避難場所などを決定しています。

推進体制

澤藤電機グループは、全社横断的な推進組織として全社会議である「内部統制・コンプラ・リスク管理委員会」を設置し、事業活動・財産・生命に影響をあたえと考えられる会社を取り巻く重要リスクを特定し、その軽減に努め、各々のリスクは本社の役員・子会社役員が期初に軽減計画を策定し、当社グループを挙げて推進しています。

リスク管理体制



個人情報の保護

澤藤電機は、2005年に施行された「個人情報の保護に関する法律」に基づき、社内における個人保護の適切な取り扱いについて定めた「個人情報取扱規程」および日常業務を行う上での留意点を具体的に定めた「個人情報取扱要領」を作成・運用しています。

また、「プライバシーポリシー」を策定し、澤藤電機のホームページに個人情報保護として掲載しています。

輸出管理・機密情報管理

澤藤電機は外国貿易に関し、「外国為替および外国貿易法（外為法）」等の法令を遵守するとともに、国立研究開発法人産業技術総合研究所の「安全保障輸出管理規程」に準拠した「安全保障輸出管理規程」を定め、国際的な平和および安全維持を目的とする輸出管理を推進しています。

感染症対策

国内における感染症情報や、社内の発症状況を適宜的確に各職場に連絡し注意喚起しています。

それらをもとに、具体的予防対策として、手洗い、うがいの呼びかけとともに社内各所に手指消毒液を配置し、感染拡大の防止に努めています。

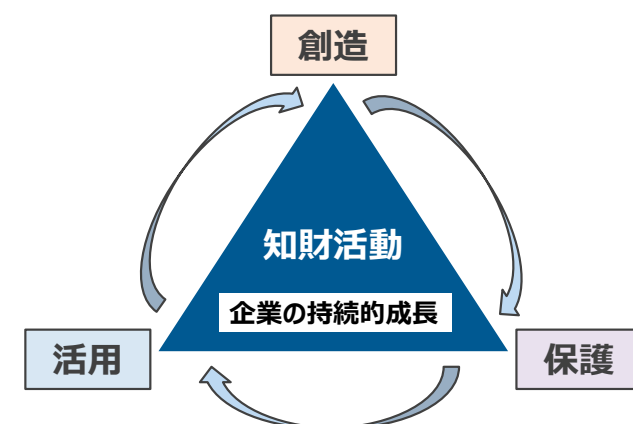
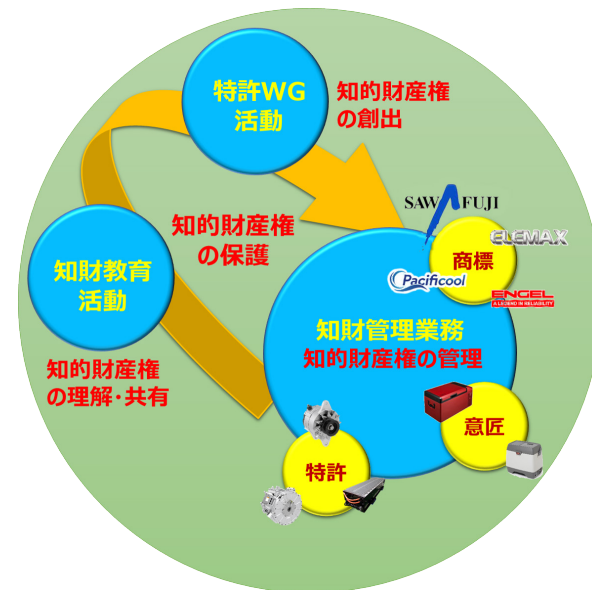
知的財産権

澤藤電機では、特許権、意匠権、商標権による保護などの知財管理業務に加えて、知財を社内に浸透させる知財教育、独創性の高い知財を創出する特許WG(ワーキンググループ)活動を行っています。



特許WG(ワーキンググループ)の様子

「電動化の大波」に確実に乗れるよう、エネルギー変換における澤藤独自のコア技術を更に進化させるべく、知財活動を推進していきます。



- 創造の取り組み
知財教育、特許WG、技術動向調査
- 保護の取り組み
研究開発成果の権利化
- 活用の取り組み
コア技術として製品へ活用

事業継続計画(BCP)に向けた取り組み

澤藤電機は、自然災害や大火災などの緊急事態の際の生命の安全確保、事業の早期復旧に対する体制強化が必要と考え、ステークホルダーとより一層の連携強化を含め、事業継続計画(BCP)に取り組んでいます。

災害に備えた訓練

■ 地震火災総合訓練

2023年11月28日(火)、本社・新田工場にて全員参加の地震火災総合訓練を行いました。

地震直後の避難行動から迅速な安否確認を行い、負傷者が出た場合を想定しての救護活動方法(AED・応急救護訓練)、地震と同時に起きる火災を想定した消火活動方法を確認することができました。また、全役員・全部長で構成される緊急対策本部についても、生産設備や実験設備、サプライチェーンなどの被災状況の確認や初動対応のシミュレーション、さらには復旧に向けた対応フローの確認を行いました。

【「大規模地震発生時の対応マニュアル」策定】

大規模地震発生時の社内体制に関する必要事項を、「大規模地震発生時の対応マニュアル」としてまとめました。社員や来訪者の方々の人命の確保を最優先とし、設備の致命的損傷の回避、火災・爆発などの二次災害の防止に努め、速やかな復旧を図ることを目的としています。



安否確認の様子



緊急対策本部の様子



個別訓練 ● 消火栓放水の様子



個別訓練 ● AEDの様子



個別訓練 ● 消火活動の様子



個別訓練 ● 応急救護の様子

防災・減災への取り組み

澤藤電機では、災害による被害を最小限にするためには日ごろの備えが重要と考え、防災・減災への取り組みを行っています。大地震への対策のほか、雷雨や突風が発生しやすい地域であるため、風雨への対策も行っています。



緊急地震速報システム



防災倉庫(備蓄品)

主な取り組み

- 緊急地震速報システムの運用
- 避難経路の安全点検、改善活動
- 防災倉庫の設置
- 資材や植栽飛散防止のためのパトロール
- 工場周辺の整理・整頓
- 構内側溝の清掃

トピックス

『GO OUT JAMBOREE 2023』に ENGEL ブースを出展

2023 年 4 月 21 日 (金) - 23 日 (日)

4月21日(金)から23日(日)までの3日間、「ふもとっばらキャンプ場(静岡県)」にて『GO OUT JAMBOREE 2023』が開催され、当社も出展しました。

出展にあたり、株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント様にご協力いただき、当社冷蔵庫とのコラボ展示をしました。

今回は ENGEL クラシックモデルを展示し、ブランド認知を図りました。

開催期間中は 15,311 名の来場者があり、当社ブースも多くのお客様にお越しいただきました。



『GO OUT JAMBOREE 2023』
に ENGEL ブースを出展の様子



『GO OUT CAMP 2023』に ENGEL ブースを出展

2023 年 9 月 29 日 (金) - 10 月 1 日 (日)

9月29日(金)から10月1日(日)までの3日間、「ふもとっばらキャンプ場(静岡県)」にて『GO OUT CAMP 2023』が開催され、当社も出展しました。

今回は冷蔵庫に加え、クーラーバッグを展示し、ブランド認知を図りました。

開催期間中は 10,120 名の来場者があり、当社ブースも多くのお客様にお越しいただきました。

今後もこのようなイベントに積極的に参加し、キャンパーの皆様当社ブランドの訴求、コトづくり提案を実施してまいります。



『GO OUT CAMP 2023』
に ENGEL ブースを出展の様子



『ジャパントラックショー in Fujispeedway 2023』に ENGEL ブースを出展

2023 年 10 月 29 日 (日)

10月29日(日)にジャパントラックショーが静岡県の富士スピードウェイでスポーツカーイベントとともに開催され、当社も出展しました。

ポータブル冷蔵庫やトラック用冷蔵庫、クーラーボックスや現在商品化を検討中のソフトクーラーバッグの展示を行い、たくさんの方にご来場いただき、アンケートにもご回答いただきました。

お客様からは様々なご意見をいただきましたので、社内で検討し今後の新商品開発や拡販に努めてまいります。



トラックがサーキットを走行



多くのお客様がご来場



整備学校の生徒に商品説明

『ジャパンキャンピングカーショー 2024』に ENGEL ブースを出展

2024 年 2 月 2 日 (金) - 5 日 (月)

2月2日(金)から5日(月)までの4日間、「幕張メッセ(千葉県)」にて、『ジャパンキャンピングカーショー 2024』が開催され、当社も出展しました。

出展にあたり、当社代理店の永興電機工業株式会社様にご協力をいただきました。

同ショーには開催期間中、4日間で約 46,500 名の来場者があり、当社ブースも多くのお客様で賑わいました。

次回以降のショーについても引き続き、さまざまな製品展示やお客様に喜ばれるサービス拡充に努めてまいります。



『ジャパンキャンピングカーショー 2024』
に ENGEL ブースを出展の様子

